

研究報告書表紙

厚生労働科学研究費補助金

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究

(令和) 6 年度 総括研究報告書

研究代表者 藤本 茂

(令和) 7 (2025) 年 5月

研究報告書目次

目 次

I. 総括研究報告	
脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究	1
藤本茂	
II. 分担研究報告	
1. 脳卒中地域連携パスの現状と課題に関する研究	9
藤本茂	
(資料) 資料名 資料1 脳卒中地域連携パスアンケートフォーム	
資料2 脳卒中地域連携パス	
2. 回復期、維持期（生活期）医療機関、地域包括ケアに関わる管理栄養士・栄養士からみた地域連携の現状と課題に関する研究	13
藤本茂	
(資料) 資料名 資料3 栄養士アンケート	
(資料) 資料名 資料4 栄養士アンケート結果	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	17

別紙3

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）
（総括・分担）研究報告書

脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究（24FA1019）

研究代表者 藤本 茂 自治医科大学内科学講座神経内科学部門教授
研究分担者 益子 貴史 自治医科大学内科学講座神経内科学部門講師
研究分担者 小笠原 邦昭 学校法人岩手医科大学学長
研究分担者 宮本 享 京都大学医学部附属病院特任教授
研究分担者 橋本 洋一郎 済生会熊本病院脳卒中センター脳神経内科特別顧問
研究分担者 豊田 章宏 中国労災病院治療就労両立支援センター所長
研究分担者 板橋 亮 学校法人岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野教授
研究分担者 竹川 英宏 獨協医科大学獨協医科大学病院教授
研究分担者 黒田 敏 国立大学法人富山大学脳神経外科教授
研究分担者 阿部 竜也 佐賀大学医学部脳神経外科教授
研究分担者 古賀 政利 国立研究開発法人国立循環器病研究センター脳血管内科部長
研究分担者 堀江 信貴 国立大学法人広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科教授
研究分担者 太田 剛史 神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科部長
研究分担者 堀内 哲吉 信州大学脳神経外科教授
研究分担者 松丸 祐司 国立大学法人筑波大学医学医療系脳神経外科教授
研究分担者 川西 正彦 香川大学脳神経外科准教授
研究分担者 高木 康志 国立大学法人徳島大学大学院医歯薬学研究部脳神経外科学教授
研究分担者 辻野 彰 長崎大学病院教授

研究要旨 全国で用いられている脳卒中地域連携パスについて現状把握のためのアンケート調査を実施し、さらに各都道府県の代表的な地域連携パスについて、含まれている内容を分析した。19/47（40.4%）に都道府県内共通の脳卒中地域連携パスがあった。パスの作成に関わる職種では、医師、看護師、リハビリテーション専門職の頻度は高かったが薬剤師、管理栄養士の頻度が少なかった。パスの退院先別利用率は、回復期リハビリテーション病院ではおおむね75%以上と高かったが、自宅、施設、維持期医療機関では0～24%の都道府県が多かった。パスのフィードバック率はおおむね50%未満であった。地域で情報共有ツールとしての脳卒中地域連携パスであるが、回復期医療機関以外での利用

率が低く、多職種の間関与も不十分であった。また、重要性が高いと評価された項目が実際に地域連携パスに盛り込まれている割合は非常に少なかった。今後、必要な項目が最低限盛り込まれた地域連携パス（疾患管理プログラム）の構築が求められる。

さらに地域連携パスへの関与が少なかった管理栄養士・栄養士への実態調査を実施した。回復期、維持期（生活期）、施設・訪問サービス、地域のクリニックに従事する120名の管理栄養士・栄養士から回答を得た。摂取（必要、提供）栄養量、食事形態、体重（変動）は管理栄養士・栄養士が重視している指標であり、実際に指導している項目でもあるが、地域連携の中で情報が不足している場合も少なくないことが示された。また、管理栄養士・栄養士は医師、看護師、言語聴覚士をはじめとした多職種の診療情報を参考にすることが少なくなく、多職種で情報を共有するシステム構築が重要である。

A. 研究目的

脳卒中は運動麻痺、言語障害、認知機能障害などの後遺症を残すことも少なくなく、再発予防のための治療、リハビリテーション、就労支援、各種介護・福祉サービス、緩和ケア及び終末期医療を含めて、急性期・回復期・維持期（生活期）の施設、更には在宅療養に至るまでシームレスな医療・介護・福祉の連携体制を構築しなければならない。

連携における疾患管理プログラムのツールとして「脳卒中地域連携パス」が活用されてきたが、統一した重要項目の設定がなされておらず、回復期医療機関以外の維持期（生活期）医療機関、地域包括ケアシステム、かかりつけ医への継続が不十分であり、急性期医療機関を含めた循環型のフィードバック機能が発揮できていないことも少なくない。脳卒中患者のケアには、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、ケアマネジャー、歯科医師、歯科衛生士、保健師など多くの職種が関わるが、各職種独自の目線での医療・介護・福祉の問題点の抽出、その共有と議論については十分になされていなかった。

本研究の目的は、まず、現在使われている脳卒中地域連携パスと急性期～回復期～維持期（生活期）の医療連携体制の現状と課題、各職種から見たシームレスな医療・介護・福祉連携に求められる情報、連携評価のための指標を明らかにすることである。そして、回復期～維持期（生活期）医療機関で提供が可能な医療体制、脳卒中医療連携のために求められる疾患管理プログラムの内容と制度、それを達成するための課題を明らかにし、その解決策を検討することである。

研究1では、現行の脳卒中地域連携パスの現状について調査する

研究2では、各地域の回復期リハビリテーション病院、維持期（生活期）医療機関、地域包括ケアに関わる多職種（まずは管理栄養士・栄養士）に地域連携において重視している指標、実際に指導している項目、不足している情報などについて調査する。

B. 研究方法

研究1

47都道府県の脳卒中対策推進委員会委員長宛に別紙資料1の内容のアンケート調査

を実施した。さらに各都道府県の代表的な脳卒中地域連携パスを提供していただき、盛り込まれている内容について集計した。

研究 2

日本栄養士会の協力の下、全国の回復期、維持期（生活期）医療機関、施設、訪問サービスなどで脳卒中患者のケアに従事する管理栄養士・栄養士に対し、アンケート調査を実施した。

C. 研究結果

研究 1

19/47（40.4%）に都道府県内共通の脳卒中地域連携パスがあった。パスの作成に関わる職種では、医師、看護師、リハビリテーション専門職の頻度は高かったが薬剤師、管理栄養士の頻度が少なかった。パスの退院先別利用率は、回復期リハビリテーション病院ではおおむね75%以上と高かったが、自宅、施設、維持期医療機関では0~24%の都道府県が多かった。パスのフィードバック率はおおむね50%未満であった。地域で情報共有ツールとしての脳卒中地域連携パスであるが、回復期医療機関以外での利用率が低く、多職種の関与もまだまだ不十分であった。また、重要性が高いと評価された項目が実際に地域連携パスに盛り込まれている割合は非常に少なかった。

研究 2

脳卒中地域連携パスの利用は13%であった。前の施設から得られている情報では、アレルギー・禁止食品、食事形態、身長・体重、提供栄養量、必要栄養量、摂取栄養量の順に多かった。また不足している情報として、摂取栄養量、体重変動、身長・体重、食事形態、補助食品、提供栄養量、必要栄養量の順に多

かった。栄養指導の効果として重視している指標では、体重、BMI、食事摂取量、HbA1c、食事形態、アルブミン値の順に多かった。参考にする多職種の情報提供書は、管理栄養士以外にも、看護師（51.7%）、医師（46.7%）、言語聴覚士（37.5%）、理学療法士（26.7%）、作業療法士（21.7%）、医療ソーシャルワーカー（20.0%）、薬剤師（15.0%）であった。

D. 考察

地域で情報共有ツールとしての脳卒中地域連携パスであるが、回復期医療機関以外での利用率が低く、多職種の関与も不十分であった。また、地域連携に必要な情報法と認識されていた項目の多くが脳卒中地域連携パスに盛り込まれていなかった。

管理栄養士・栄養士が重視している指標が、地域連携の中で情報が不足している場合も少なくない。また、管理栄養士・栄養士は医師、看護師、言語聴覚士をはじめとした多職種の診療情報を参考にすることが少なくなく、多職種で情報を共有するシステム構築が重要である。

E. 結論

各職種が地域連携の指標として重視する項目、多職種で共有すべき項目を明らかにし、集約された疾患管理プログラムの構築が必要である。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
特記事項なし

別紙4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
該当なし					

別紙3

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）
（総括・分担）研究報告書

脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究（24FA1019）

～研究1 脳卒中地域連携パスの現状と課題に関する調査～

研究代表者 藤本 茂 自治医科大学内科学講座神経内科学部門教授
研究分担者 益子 貴史 自治医科大学内科学講座神経内科学部門講師
研究分担者 小笠原 邦昭 学校法人岩手医科大学学長
研究分担者 宮本 享 京都大学医学部附属病院特任教授
研究分担者 橋本 洋一郎 済生会熊本病院脳卒中センター脳神経内科特別顧問
研究分担者 豊田 章宏 中国労災病院治療就労両立支援センター所長
研究分担者 板橋 亮 学校法人岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野教授
研究分担者 竹川 英宏 獨協医科大学獨協医科大学病院教授
研究分担者 黒田 敏 国立大学法人富山大学脳神経外科教授
研究分担者 阿部 竜也 佐賀大学医学部脳神経外科教授
研究分担者 古賀 政利 国立研究開発法人国立循環器病研究センター脳血管内科部長
研究分担者 堀江 信貴 国立大学法人広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科教授
研究分担者 太田 剛史 神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科部長
研究分担者 堀内 哲吉 信州大学脳神経外科教授
研究分担者 松丸 祐司 国立大学法人筑波大学医学医療系脳神経外科教授
研究分担者 川西 正彦 香川大学脳神経外科准教授
研究分担者 高木 康志 国立大学法人徳島大学大学院医歯薬学研究部脳神経外科学教授
研究分担者 辻野 彰 長崎大学病院教授

研究要旨 全国で用いられている脳卒中地域連携パスについて現状把握のためのアンケート調査を実施し、さらに各都道府県の代表的な地域連携パスについて、含まれている内容を分析した。19/47（40.4%）に都道府県内共通の脳卒中地域連携パスがあった。パスを使用しない理由として、「地域連携診療計画加算より診療情報提供料のほうが保険点数が高い」「連携会議の点数が加算できないなど診療報酬改定の影響」「連携先の協力が得られない」などが挙げられた。パスの作成に関わる職種では、医師、看護師、リハビリテーション専門職の頻度は高かったが薬剤師、管理栄養士の頻度が少なかった。パスの退院先別利用率は、回復期リハビリテーション病院ではおおむね75%以上と高かったが、自宅、

施設，維持期医療機関では0~24%の都道府県が多かった。パスのフィードバック率はおおむね50%未満であった。パスが循環しない理由として、「地域での認識不足」「マンパワー不足」などがあげられた。地域で情報共有ツールとしての脳卒中地域連携パスであるが，回復期医療機関以外での利用率が低く，多職種の間でもまだまだ不十分であった。また，重要性が高いと評価された項目が実際に地域連携パスに盛り込まれている割合は非常に少なかった。今後，必要な項目が最低限盛り込まれた地域連携パス（疾患管理プログラムの構築が求められる。

A. 研究目的

脳卒中患者の地域連携における疾患管理プログラムのツールとして「脳卒中地域連携パス」が活用されてきたが，統一した重要項目の設定がなされておらず，回復期医療機関以外の維持期（生活期）医療機関，地域包括ケアシステム，かかりつけ医への継続が不十分であり，急性期医療機関を含めた循環型のフィードバック機能が発揮できていないことも少なくない。脳卒中患者のケアには，医師，看護師，医療ソーシャルワーカー，理学療法士，作業療法士，言語聴覚士，薬剤師，管理栄養士，ケアマネジャー，歯科医師，歯科衛生士，保健師など多くの職種が関わるが，各職種独自の目線での医療・介護・福祉の問題点の抽出，その共有と議論については十分になされていなかった。

本研究の目的は，現在使われている脳卒中地域連携パスの現状と課題を明らかにすることである。

B. 研究方法

47都道府県の脳卒中对策推進委員会委員長宛に別紙資料1の内容のアンケート調査を実施した。さらに各都道府県の代表的な脳卒中地域連携パスを提供していただき，盛り込まれている内容について集計した。

1) アンケート調査内容：

- ・脳卒中地域連携パスの県内統一の有無
 - ・脳卒中地域連携パスに関わる職種
 - ・3ヵ月後や1年後のmRSやFIMの情報フィードバックの有無
 - ・各地域で維持期医療機関，かかりつけ医，ケアマネジャー等地域包括ケアに関わる職種にまでパスを循環させる制度の有無（どこまで繋がっているか，の確認）
 - ・受け取った側の利用の有無
 - ・地域に行き渡らない原因（加算の問題，全体会議がない問題，各施設の事情）
 - ・脳卒中地域連携パスに盛り込むべき内容
 - ・パスへの加算の有無
- 2) 各都道府県の脳卒中地域連携パスの内容の集計：
- ・抗血栓薬の種類と用量
 - ・血圧，血糖，脂質の目標設定
 - ・服薬指導の有無と内容
 - ・栄養経路
 - ・栄養指導の有無と内容
 - ・mRS，日常生活自立度退院時，BI，FIMの推移
 - ・リハビリテーションのゴール設定
 - ・日常生活のゴール設定
 - ・就労支援の有無と内容
 - ・意思決定支援の有無と内容
 - ・患者および家族への説明内容
 - ・患者および家族の理解度

C. 研究結果

別紙資料 2 参照。

47 都道府県の都道府県脳卒中対策推進委員会委員長にアンケートに回答していただき、脳卒中地域連携パスの現状について確認した。すべての都道府県から回答を得た。19/47 (40.4%) に都道府県内共通の脳卒中地域連携パスがあった。二次医療圏毎のパス、特定のグループ内でのパス、施設独自のパスも散見された。パスを使用しない理由として、「地域連携診療計画加算より診療情報提供料のほうが保険点数が高い」「連携会議の点数が加算できないなど診療報酬改定の影響」「連携先の協力が得られない」などが挙げられた。パス以外に使用されている連携フォームとして、看護サマリー(30/47)、リハビリテーションサマリー(35/47)の頻度が高かった。パスの作成に関わる職種では、医師、看護師、リハビリテーション専門職の頻度は高かったが薬剤師、管理栄養士の頻度が少なかった。パスの退院先別利用率は、回復期リハビリテーション病院ではおおむね75%以上と高かったが、自宅、施設、維持期医療機関では0~24%の都道府県が多かった。パスのフィードバック率はおおむね50%未満であった。パスが循環しない理由として、「地域での認識不足」「マンパワー不足」などがあげられた。

47 都道府県のうち40 都道府県の代表的な地域連携パスに盛り込まれている項目について検討した。抗血栓薬の内容と用量、服薬指導の有無、目標カロリー、目標塩分量、危険因子の目標設定、回復期以降のmRSの推移、日常生活のゴール設定、患者および家族の理解度についてはいずれも地域連携パスに盛り込まれている割合が50%未満であ

った。また、就労支援や意思決定支援に関する情報はほぼ含まれていなかった。以上の内容はいずれも地域連携に必要な情報と認識されていた。

D. 考察

地域で情報共有ツールとしての脳卒中地域連携パスであるが、回復期医療機関以外での利用率が低く、多職種の関与もまだまだ不十分であった。また、地域連携に必要な情報法と認識されていた項目の多くが脳卒中地域連携パスに盛り込まれていなかった。

E. 結論

各職種が地域連携の指標として重視する項目、多職種で共有すべき項目を明らかにし、集約された疾患管理プログラムの構築が必要である。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
特記事項なし

別紙 4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
該当なし					

別紙3

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）
（総括・分担）研究報告書

脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究（24FA1019）
～研究2 回復期，維持期（生活期）医療機関，地域包括ケアに関わる管理栄養士・栄養士への実態調査～

～

研究代表者 藤本 茂 自治医科大学内科学講座神経内科学部門教授
研究分担者 益子 貴史 自治医科大学内科学講座神経内科学部門講師
研究分担者 小笠原 邦昭 学校法人岩手医科大学学長
研究分担者 宮本 享 京都大学医学部附属病院特任教授
研究分担者 橋本 洋一郎 済生会熊本病院脳卒中センター脳神経内科特別顧問
研究分担者 豊田 章宏 中国労災病院治療就労両立支援センター所長
研究分担者 板橋 亮 学校法人岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野教授
研究分担者 竹川 英宏 獨協医科大学獨協医科大学病院教授
研究分担者 黒田 敏 国立大学法人富山大学脳神経外科教授
研究分担者 阿部 竜也 佐賀大学医学部脳神経外科教授
研究分担者 古賀 政利 国立研究開発法人国立循環器病研究センター脳血管内科部長
研究分担者 堀江 信貴 国立大学法人広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科教授
研究分担者 太田 剛史 神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科部長
研究分担者 堀内 哲吉 信州大学脳神経外科教授
研究分担者 松丸 祐司 国立大学法人筑波大学医学医療系脳神経外科教授
研究分担者 川西 正彦 香川大学脳神経外科准教授
研究分担者 高木 康志 国立大学法人徳島大学大学院医歯薬学研究部脳神経外科学教授
研究分担者 辻野 彰 長崎大学病院教授

研究要旨 全国で用いられている脳卒中地域連携パスについて現状把握のためのアンケート調査を実施し、さらに各都道府県の代表的な地域連携パスについて、含まれている内容を分析した結果、パスの作成や利用に関わる職種では、医師、看護師、リハビリテーション専門職の頻度は高かったが薬剤師、管理栄養士の頻度が少なかった。そこで回復期、維持期（生活期）医療機関、地域包括ケアのなかで施設や訪問サービスでの脳卒中患者のケアに従事する管理栄養士・栄養士に対し、脳卒中地域連携で重視する指標、不足

している情報、現状の課題についての調査を、日本栄養士会の協力の下実施した。摂取（必要、提供）栄養量、食事形態、体重（変動）は管理栄養士・栄養士が重視している指標であり、実際に指導している項目でもあるが、地域連携の中で情報が不足している場合も少なくないことが示された。また、管理栄養士・栄養士は医師、看護師、言語聴覚士をはじめとした多職種の診療情報を参考にすることが少なくなく、多職種で情報を共有するシステム構築が重要である。

A. 研究目的

連携における疾患管理プログラムのツールとして「脳卒中地域連携パス」が活用されてきたが、統一した重要項目の設定がなされておらず、回復期医療機関以外の維持期（生活期）医療機関、地域包括ケアシステム、かかりつけ医への継続が不十分であった。また、パスの作成や利用に関わる職種では、医師、看護師、リハビリテーション専門職の頻度は高かったが薬剤師、管理栄養士の頻度が少なかった。そこで回復期、維持期（生活期）医療機関、地域包括ケアのなかで施設や訪問サービスでの脳卒中患者のケアに従事する管理栄養士・栄養士に対し、脳卒中地域連携で重視する指標、不足している情報、現状の課題についての調査を、日本栄養士会の協力の下実施した。

本研究の目的は、地域で活躍する管理栄養士・栄養士の視点から、脳卒中患者の疾患管理プログラムに盛り込むべき項目を明らかにすることである。

B. 研究方法

日本栄養士会の協力の下、全国の回復期、維持期（生活期）医療機関、施設、訪問サービスなどで脳卒中患者のケアに従事する管理栄養士・栄養士に対し、別紙資料 3 のアンケート調査を実施した。主として

・現在の連携で得られる情報

・地域連携パスへの関り

・現在の連携で不足している情報

・重視している指標

・フレイル/寝たきり防止のための対策

・専門的視点からみた現在の地域連携の課題である。

C. 研究結果

別紙資料 4 参照。

現在調査は継続中であるが、中間集計時点で 120 名の管理栄養士・栄養士（回復期医療機関 68 名、維持期（生活期）医療機関 26 名、施設・訪問サービス 18 名、クリニック 8 名）から回答を得た。

脳卒中地域連携パスの利用は 13%であった。前の施設から得られている情報では、アレルギー・禁止食品（51.7%）、食事形態（51.7%）、身長・体重（46.7%）、提供栄養量（41.7%）、必要栄養量（25.8%）、摂取栄養量（24.2%）、介護保険・福祉サービス関連（20.8%）、体重変動（13.3%）、日常生活自立度（13.3%）の順に多く、脂質異常対策、耐糖能異常対策、フレイル対策、目標血圧・LDL・TG・HbA1c 値、口腔ケアは少なかった。また不足している情報として、摂取栄養量（34.2%）、体重変動（28.3%）、身長・体重（23.3%）、食事形態（21.7%）、補助食品（18.3%）、提供栄養量（17.5%）、必要栄養量

(14.2%) の順に多く、脂質異常対策、耐糖能異常対策、フレイル対策、目標血圧・LDL・TG・HbA1c 値、口腔ケアは少なかった。

重視して指導している項目としては、食事形態 (47.5%)、目標総カロリー量 (44.2%)、目標総塩分量 (45.0%) が多かった。栄養指導の効果として重視している指標では、体重 (55.8%)、BMI (50.0%)、食事摂取量 (48.3%)、HbA1c (42.5%)、食事形態 (41.7%)、アルブミン値 (29.2%)、LDL コレステロール値 (25.0%)、総コレステロール値 (18.3%)、日常生活機能評価 (16.7%) の順に多かった。

フレイル対策で実施している対策としては、栄養指導 (45.0%)、運動指導 (21.7%)、口腔ケア (15.8%) であった。参考にする多職種の情報提供書は、管理栄養士 (54.2%) 以外にも、看護師 (51.7%)、医師 (46.7%)、言語聴覚士 (37.5%)、理学療法士 (26.7%)、作業療法士 (21.7%)、医療ソーシャルワーカー (20.0%)、薬剤師 (15.0%) であった。

管理栄養士・栄養士から申し送る項目では、食事形態 (51.7%)、目標総カロリー量 (47.5%)、目標塩分量 (28.3%)、アルブミン値 (14.2%)、耐糖能異常対策 (23.3%)、フレイル対策 (12.5%)、脂質異常対策 (12.5%) の順に多く、目標血圧・LDL・TG、HbA1c 値やフレイル対策は少なかった。

D. 考察

管理栄養士・栄養士からみた脳卒中地域連携で得られている情報、不足している情報、指導している項目、重視している指標などの傾向が明らかになった。

摂取 (必要、提供) 栄養量、食事形態、体重 (変動) は管理栄養士・栄養士が重視

している指標であり、実際に指導している項目でもあるが、地域連携の中で情報が不足している場合も少なくない。また、アルブミン値や HbA1c 値は指標として重視される可能性があるが、必ずしも医療連携で繋がれていないことも示唆された。管理栄養士・栄養士は医師、看護師、言語聴覚士をはじめとした多職種の診療情報を参考にすると、それらの職種が高頻度に関わっている脳卒中地域連携パスへの関与が極めて少なかった。

E. 結論

各職種が地域連携の指標として重視する項目、多職種で共有すべき項目を明らかにし、集約された疾患管理プログラムの構築が必要である。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし

2. 学会発表
なし

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得
なし

2. 実用新案登録
なし

3. その他
特記事項なし

別紙 4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
該当なし					

脳卒中地域連携パスについて

1. 都道府県で共通の「脳卒中地域連携パス」の様式がありますか？

- a. ある
- b. ない

「ない」と回答された場合

2. 都道府県における「脳卒中地域連携パス」の運用は以下のどれが該当しますか？該当するものをすべて選んでください。

- a. 二次医療圏ごとに異なるパスを運用している
- b. 二次医療圏とは異なるグループごと（大学病院とその関連施設など）にパスを運用している
- c. 各施設独自のパスを運用している
- d. 都道府県内のいずれの施設でもパスを運用せず，診療情報提供書（画像含む）のみで連携している
- e. その他（具体的記載： _____）

パスを運用していない（2. の回答が d）場合

3. パスを運用しない理由はどれですか？該当するものをすべて選んでください。

- a. 地域連携診療計画加算より診療情報提供料（検査・画像情報提供加算を含む）のほうが保険点数が高い
- b. 診療報酬改定の影響（連携会議の点数が加算できないなど）
- c. パスの作成が煩雑である，マンパワーの問題
- d. パスを用いるメリットを感じない
- e. 連携先の協力が得られない
- f. 紙ベースのパスでは使いにくい
- g. その他（具体的記載： _____）

パスを運用していない場合は以上で終了です。

以下はバスを運用している場合（一部の施設・グループのみで運用している場合も含む）

4. 都道府県内で運用されているバスは何通りありますか？都道府県外との連携で臨時に使用するバスは含みません。
- 共通バス1つのみ
 - 2
 - 3
 - 4
 - 5つ以上
 - 不明
5. 「脳卒中地域連携バス」以外で回復期，維持期（生活期）医療機関，かかりつけ医，地域包括ケアシステムとの連携に運用している連携フォーム（オプションパスなど）をすべて選んでください。
- 看護サマリー
 - リハビリテーションサマリー
 - 薬剤（お薬手帳や処方箋の写しのみは含まない，服薬指導内容などのフォーム）
 - 栄養管理・食事指導に関するフォーム
 - その他（具体的記載： _____)

以下は都道府県統一バスもしくは最も代表的と思われるバスについてご回答下さい。都道府県脳卒中対策推進委員会委員長のご施設，または都道府県統一バスもしくは最も代表的と思われるバスを運用している中核施設の立場でご回答ください。

6. 「脳卒中地域連携バス」に対して地域連携診療計画加算を算定していますか？
- 加算している
 - 地域連携診療計画加算の届け出施設であるが加算していない
 - 地域連携診療計画加算の届け出施設ではないので加算していない
7. 「脳卒中地域連携バス」に関する連携会議を開催していますか？
- 開催している ご記入ください → () 回／年の開催
 - 開催していた時期もあるが，今は開催していない
 - 開催したことがない

8. 急性期医療機関において「脳卒中地域連携パス」の作成に
関与する職種をすべて選んでください。

- a. 脳卒中専門医
- b. 脳卒中専門医以外のリハビリテーション専門医
- c. a, b 以外の脳神経内科医・脳神経外科医
- d. a～c 以外の医師
- e. 脳卒中認定看護師
- f. 脳卒中認定看護師以外の看護師
- g. 医療ソーシャルワーカー
- h. 理学療法士
- i. 作業療法士
- j. 言語聴覚士
- k. 管理栄養士
- l. 薬剤師
- m. 臨床心理士（公認心理師）
- n. 事務職
- o. その他（具体的記載： _____ ）

9. 「脳卒中地域連携パス」の記入に両立支援コーディネーター資格保有者が関与しますか？

- a. 関与する
- b. 関与しない

10. 急性期医療機関から「脳卒中地域連携パス」を発出する退院先をすべて選んでください。

- a. 回復期リハビリテーション病院
- b. 維持期（生活期）医療機関
- c. かかりつけ医
- d. 介護保険施設
- e. 地域包括ケアに関わる職種（ケアマネジャーなど）

1 1. 急性期医療機関から発出した「脳卒中地域連携パス」はどこまで繋がりますか？

繋がる先をすべて選んでください。

- a. 回復期リハビリテーション病院
- b. 維持期（生活期）医療機関
- c. かかりつけ医
- d. 介護保険施設
- e. 地域包括ケアに関わる職種（ケアマネジャー，施設相談員など）
- f. 直接連携する施設以外は不明

1 2. 回復期，維持期（生活期），地域包括ケアシステムで「脳卒中地域連携パス」の運用に関与する，または「脳卒中地域連携パス」を利活用する職種をすべて選んでください。

- a. 脳卒中専門医
- b. 脳卒中専門医以外のリハビリテーション専門医
- c. a, b 以外の脳神経内科医・脳神経外科医
- d. a～c 以外の医師
- e. 脳卒中認定看護師
- f. 脳卒中認定看護師以外の看護師
- g. 医療ソーシャルワーカー
- h. 理学療法士
- i. 作業療法士
- j. 言語聴覚士
- k. 管理栄養士
- l. 薬剤師
- m. 臨床心理士（公認心理師）
- n. 地域包括ケアに関わる職種（ケアマネジャー，施設相談員など）
- o. 事務職
- p. その他（具体的記載： _____ ）

1 3. 「脳卒中地域連携パス」の IT 化の取り組みがありますか？

- a. ある
- b. 構想はあったが実施されなかった
- c. 構想されたこともない
- d. 不明

14. 急性期医療機関（ご回答者のご施設、または最も代表的と思われる「脳卒中地域連携パス」を運用している中核施設）から退院時のパスの利用率はどの程度ですか？

(1) 全体

- a. 100%
- b. 75~99%
- c. 50~74%
- d. 25~49%
- e. 1~24%
- f. 0%

(2) 自宅退院の場合

- a. 100%
- b. 75~99%
- c. 50~74%
- d. 25~49%
- e. 1~24%
- f. 0%

(3) 回復期リハビリテーション病院（病棟）に転院の場合

- a. 100%
- b. 75~99%
- c. 50~74%
- d. 25~49%
- e. 1~24%
- f. 0%

(4) 維持期医療機関に転院の場合

- a. 100%
- b. 75~99%
- c. 50~74%
- d. 25~49%
- e. 1~24%
- f. 0%

(5) 施設への退院の場合

- a. 100%
- b. 75~99%
- c. 50~74%
- d. 25~49%
- e. 1~24%
- f. 0%

15. 発出された「脳卒中地域連携パス」が循環してフィードバックを得られる割合はどの程度ですか？

- a. 100%
- b. 75~99%
- c. 50~74%
- d. 25~49%
- e. 1~24%
- f. 0%

16. 「脳卒中地域連携パス」が地域で循環し、共有できない理由で当てはまるものをすべて選んでください。

- a. 加算の問題
- b. 連携会議が開催できない
- c. 紙ベースでは限界がある
- d. 多職種の間が得られない
- e. マンパワーの問題
- f. 脳卒中のみ別枠で対応することは困難である
- g. 必要性が感じられない
- h. 地域医療での認知不足
- i. 新型コロナウイルス感染拡大の影響
- j. その他(具体的記載:)

17. 「脳卒中地域連携パス」が「疾患管理プログラム」として地域全体に循環した場合にパスを発出する施設として、盛り込まれるべきと思う項目をすべて選んでください。また、選んだ項目の中で特に重要と思う項目を3つ選んでください。

- a. 抗血栓薬の用量や変更の注意点
- b. 特定の検査値の値
- c. 血圧・血糖・コレステロールなどの具体的な目標値
- d. 服薬管理のポイント、指導内容
- e. 栄養管理のポイント、指導内容
- f. リハビリテーションのアドバイス、ゴール
- g. 目標設定とその経過
- h. 就労または就学支援に関する説明内容や目標
- i. 意思決定支援に関する説明内容
- j. 患者・家族の理解度
- k. 必要な介護・福祉サービス
- l. その他(具体的記載:)

特に大事な項目上位3つ(順不同)() () ()

18. 「脳卒中地域連携パス」として地域全体に循環するために最も適切なフォーマットと
思うものを選んでください。

- a. 紙
- b. 電子カルテ
- c. アプリ(PC・スマホ内)
- d. Web上データ
- d. その他(具体的記載:)

19. 18. で選んだフォーマットの伝達手段として適切だと思うものをすべて選んでくだ
い。

- a. 直接手渡し
- b. 郵送
- c. Fax
- d. E-mail
- e. クラウド
- f. その他(具体的記載:)

20. 16. および17. を選ぶ理由の優先順位について下記について順番をお答えくだ
さい。考慮しないものは記入しないでください

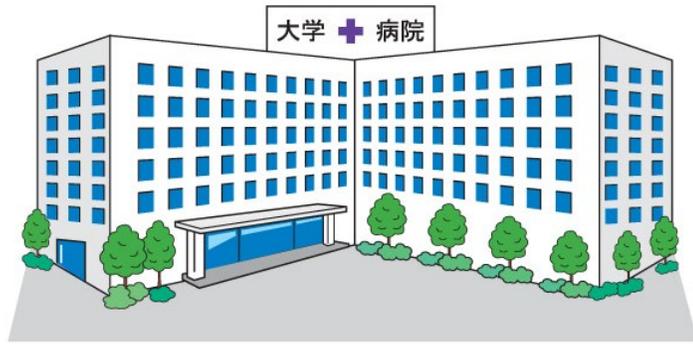
- () 簡便さ
- () 精確性
- () 安全性・信頼性
- () 汎用性・拡張性
- () 永続性
- () 経済性・コスト
- () その他(具体的記載:)

21. 「脳卒中地域連携パス」を運営するうえで感じられている課題や実施している工夫な
どございましたらご記入ください。

**脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の
検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の
充実に資する臨床指標を確立させるための研究
(24FA1019)**

脳卒中地域連携パスの現状と課題

**研究代表者
藤本茂**



急性期医療機関
脳卒中センター
大学

循環型双方性の
脳卒中地域連携パス
疾患管理プログラム

地域包括ケア病棟



地域包括ケアシステム

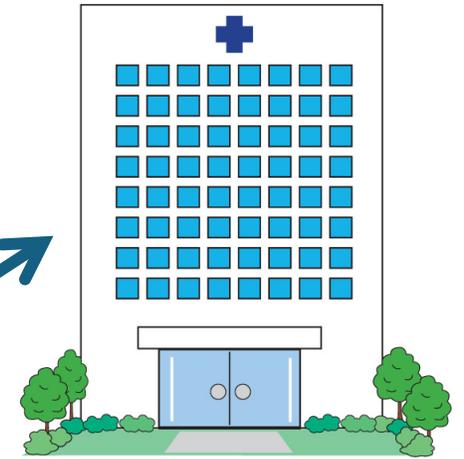
福祉サービス

- ・在宅支援
- ・介護支援
- ・通院・通所支援
- ・服薬管理, 栄養指導
- ・訪問リハビリテーション
- ・訪問診療, 看護, 介護
- ・就労支援
- ・終末期医療 など

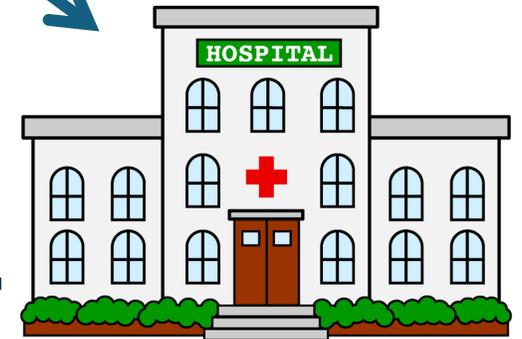
在宅医療



かかりつけ医



回復期医療機関



維持期医療機関

循環型双方性の
脳卒中地域連携パス
疾患管理プログラム

再発予防
健康寿命延伸・フレイル予防
年齢調整死亡率の低下

Education and counselling intervention for families after stroke

教育・カウンセリングによる介入は家族機能維持し、機能的・社会的転帰を改善

・オーストラリアで、脳卒中後の教育とカウンセリングが、脳卒中患者と配偶者の家族機能と心理社会的結果の改善、患者の機能的・社会的回復につながるかどうかをランダム化比較試験で検討

・①介入群32組、②対照群30組の脳卒中患者と配偶者
 ・リハ病院入院時と退院時、6か月後にデータが収集
 ・介入群には、脳卒中情報パッケージと家族カウンセリング訓練を受けたソーシャルワーカーが3回訪問

・6か月時点で

①では、患者と配偶者の両方で家族機能良好

家族機能評価法：McMaster Family Assessment Device (FAD)

①では、家族機能の改善に伴って機能回復も良好

機能評価法：Barthel Index (BI)

①では、社会的回復も良好

社会的回復評価法：Adelaide Activities Profile (AAP)

うつ病、不安、習熟度、健康状態に有意な影響はなかった。

各評価法：Geriatric Depression Scale (GDS),

Hospital Anxiety and Depression Scale (HADS),

Mastery Scale (MS), SF-36

Table 2 Outcome measures by treatment group

	Control		Intervention	
	Mean	(SD)	Mean	(SD)
Family Assessment Device				
Patients				
Admission	1.80	(0.25)	1.81	(0.20)
Discharge	1.89	(0.17)	1.79	(0.14)
6 months	1.96	(0.27)	1.77	(0.12)
Spouses				
Admission	1.86	(0.28)	1.86	(0.21)
Discharge	1.90	(0.31)	1.81	(0.24)
6 months	1.89	(0.39)	1.80	(0.25)
Barthel Index (patient)				
Admission	10.2	(3.6)	10.0	(4.1)
Discharge	16.6	(2.6)	16.4	(3.7)
6 months	17.4	(3.9)	18.7	(2.0)
Adelaide Activities Profile (patient)				
Domestic chores				
Admission (premorbid)	54.7	(16.2)	50.1	(20.5)
6 months	29.5	(21.5)	35.2	(15.8)
Household maintenance				
Admission (premorbid)	61.8	(17.9)	51.7	(24.5)
6 months	31.1	(18.6)	33.8	(11.8)
Service to others				
Admission (premorbid)	55.8	(21.5)	61.2	(23.1)
6 months	44.3	(15.2)	48.9	(18.5)
Social activities				
Admission (premorbid)	49.8	(19.3)	53.1	(12.3)
6 months	38.9	(7.9)	50.4	(8.2)
SF-36				
Patients				
Physical health	40.9	(7.6)	39.7	(6.4)
Mental health	48.1	(7.3)	48.3	(7.0)
Spouses				
Physical health	49.4	(13.7)	48.2	(12.1)
Mental health	48.4	(6.2)	46.4	(6.8)
Geriatric Depression Scale (patient)				
Admission	4.0	(2.7)	4.5	(2.8)
Discharge	4.0	(1.6)	3.7	(1.5)
6 months	4.8	(1.0)	4.5	(2.1)
Hospital Anxiety and Depression Scale: Anxiety subscale (patient)				
Admission	6.0	(4.3)	5.6	(5.2)
Discharge	6.8	(3.0)	4.7	(3.2)
6 months	6.2	(2.7)	4.5	(2.7)
Mastery scale (patient)				
Admission	27.5	(2.6)	27.8	(3.5)
Discharge	27.8	(2.1)	27.3	(3.7)
6 months	22.9	(3.4)	22.1	(4.4)

Community care coordination for stroke survivors

サポートプログラム導入で受診頻度増し，再発抑制，医療費減少

- ・ドイツで脳卒中後退院患者の多面的サポートプログラムを検証。
- ・脳卒中・TIA後6か月以内の55歳以上の患者 ①介入群91例 ②対象群270例 で比較検討。
- ・最大1年間、電話または対面でケアの調整を行った。
- ・①介入群は，②対象群より
 - 神経内科外来受診頻度が高い (OR = 4.75; 95% CI: 2.71-8.31)
 - 再入院の頻度が低い (IRR = 0.42; 95% CI: 0.29-0.61)
 - 個人総医療費は少ない (介入群IQR = €0-1910, 対象群IQR = €0-4375)
- ・①介入群と ②対象群で，脳卒中再発割合と死亡率には差はなかった。

※ 積極的にサポートプログラムで介入しており，「相談」を受けるというサポート方法とは異なる点は要注意。

Table 2 Outcomes – descriptive results

Outcome parameter	Intervention group, n = 91 Median follow up time (IQR): 12.0 (10.2–12.0)	Control group, n = 270 Median follow up time (IQR): 12.0 (12.0–12.0)
Utilization of outpatient specialist services, IR (95% CI) per 100 person months	6.41 (5.00–8.20)	3.32 (2.73–4.04)
Recurrent strokes within 12 months, IR (95% CI) per 100 person months	0.79 (0.21–2.92)	1.22 (0.77–1.93)
Readmissions within 12 months, IR (95% CI) per 100 person months	4.03 (2.58–6.28)	9.56 (7.99–11.43)
Costs of readmissions per 6 months in €, median (IQR)	0 (0–1910)	938 (0–4375)
Survival (within 12 months), KME (95% CI)	0.92 (0.87–0.98)	0.90 (0.87–0.94)

現状と課題

- **脳卒中地域連携パスには、統一した重要項目の設定がなされておらず、回復期医療機関以外の維持期（生活期）医療機関、地域包括ケアシステム、かかりつけ医への継続が不十分であり、急性期医療機関を含めた循環型のフィードバック機能が発揮できていないことも少なくない。**
- **様々な事情により急性期病院で開始された治療やリハビリテーションが継続できない、**
- **脳卒中患者のケアには、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、ケアマネジャー、歯科医師、歯科衛生士、保健師など多くの職種が関わるが、各職種独自の目線での医療・介護・福祉の問題点の抽出、その共有と議論については十分になされていなかった。**

研究の目的

- ・現在使われている脳卒中地域連携パスと急性期～回復期～維持期（生活期）の医療連携体制の現状と課題，各職種から見たシームレスな医療・介護・福祉連携に求められる情報，連携評価のための指標を明らかにする。
- ・回復期～維持期（生活期）医療機関で提供が可能な医療体制，脳卒中医療連携のために求められる疾患管理プログラムの内容と制度，それを達成するための課題を明らかにし，その解決策を検討する
- ・疾患管理プログラムのモデルの作成

研究の概要

1年目

地域連携パスの分析

- ・ 内容
- ・ 連携先
- ・ 転院時の問題点

アンケート調査

- 回復期，維持期（生活期），地域包括ケアにおける
- ・ 多職種による指導内容と課題
 - ・ 治療継続の現状
 - ・ 連携先に伝える項目
 - ・ リハビリテーションの現状と課題

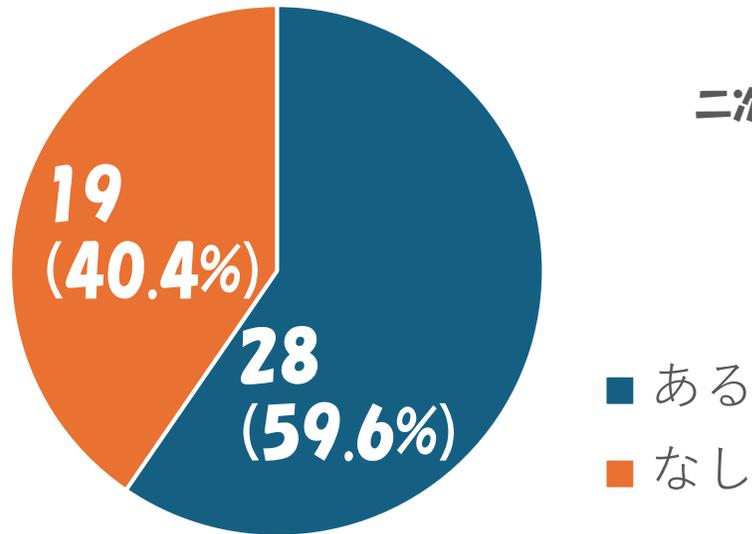
2年目

疾患管理プログラムに必要な情報，評価のための指標を検討

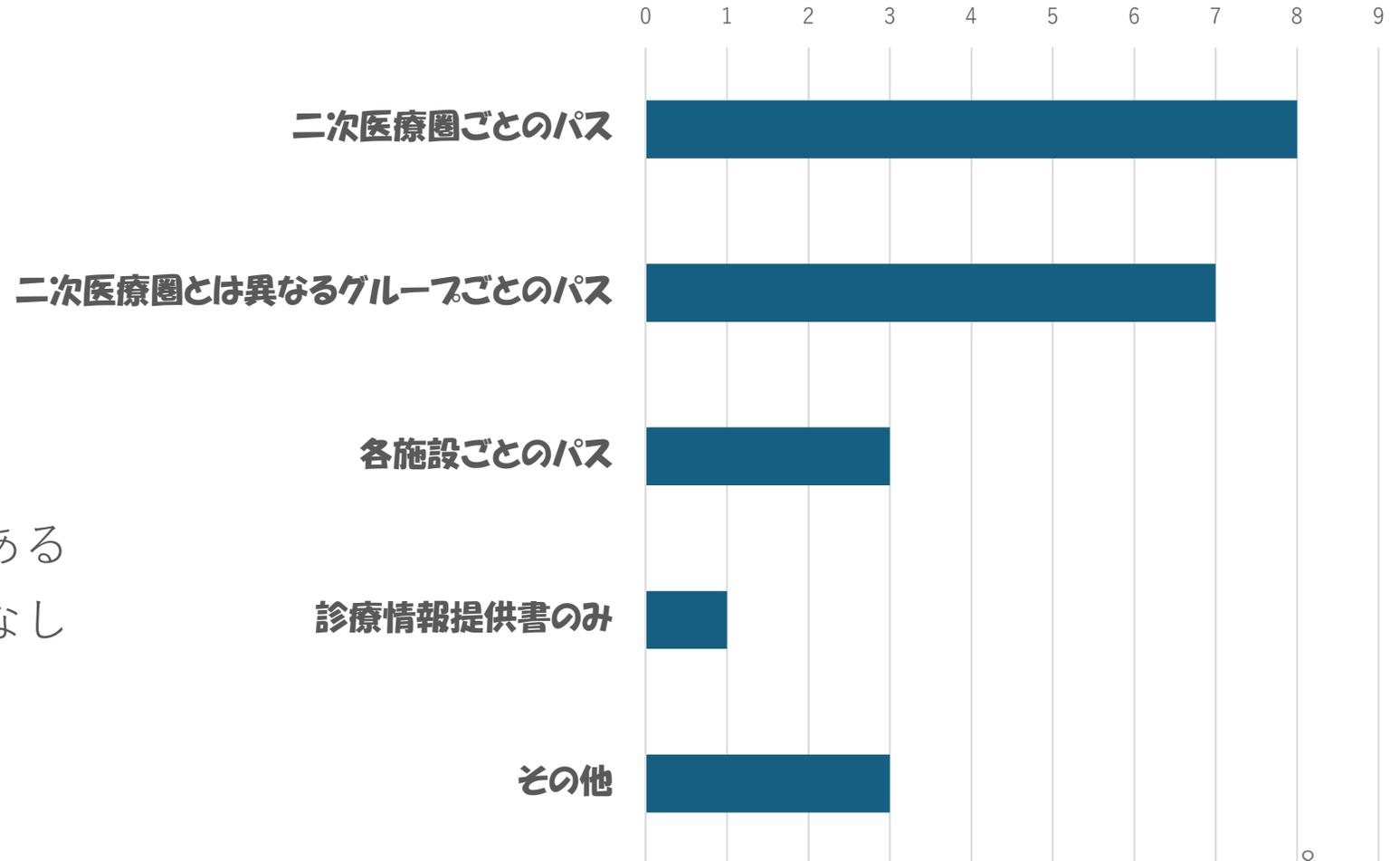
疾患管理プログラムのモデル作成

脳卒中地域連携パスの状況

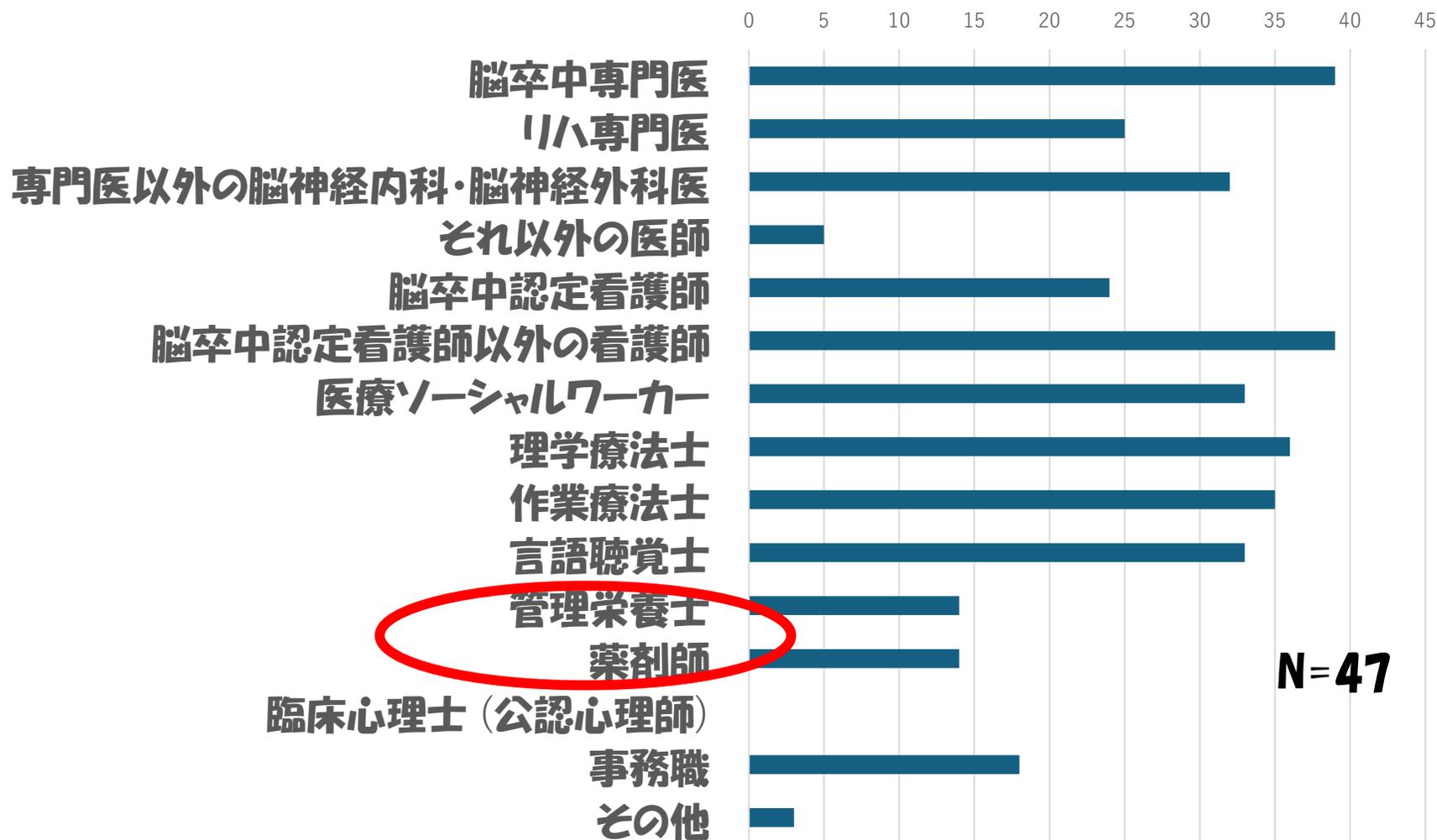
都道府県共通パス



都道府県共通パスがない場合



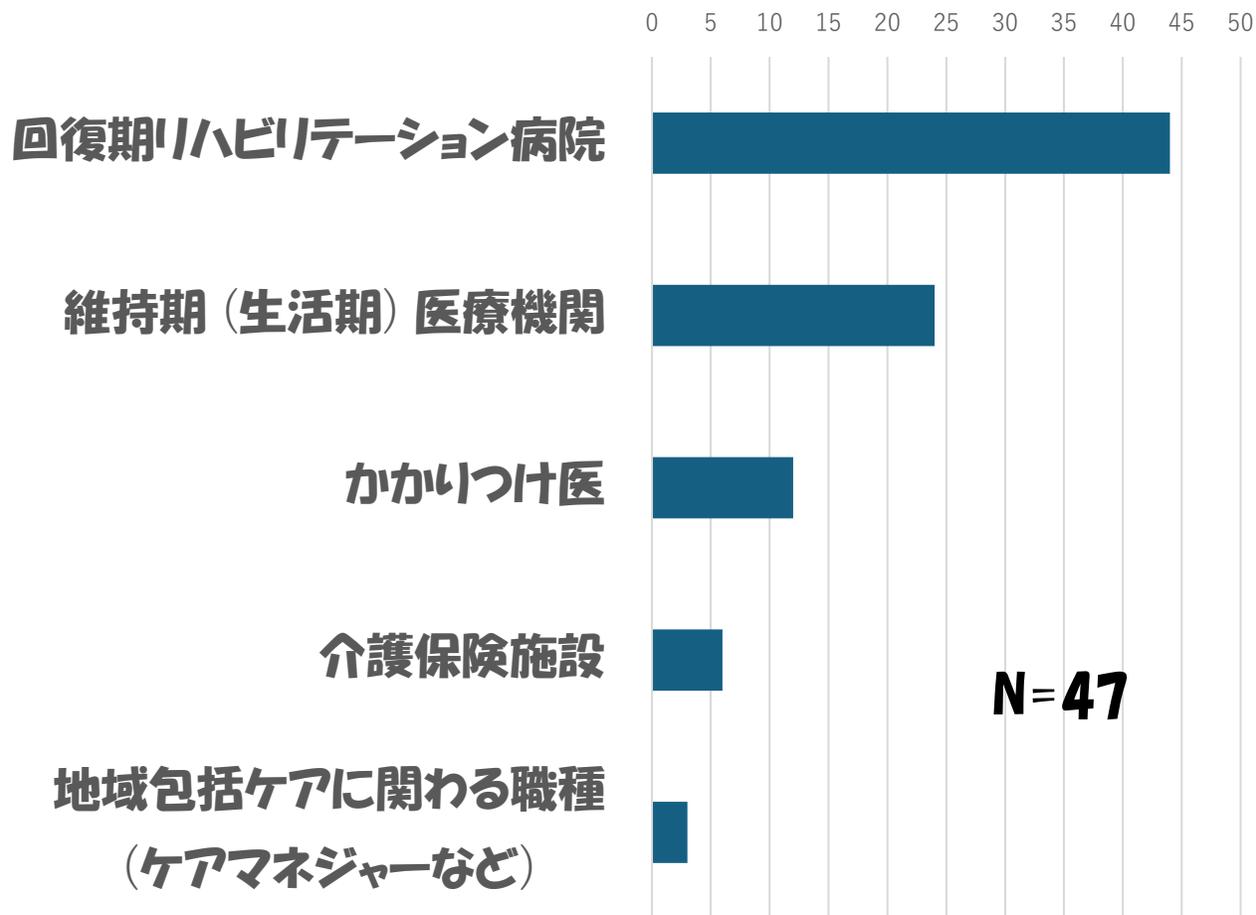
地域連携パスの作成にかかわる職種



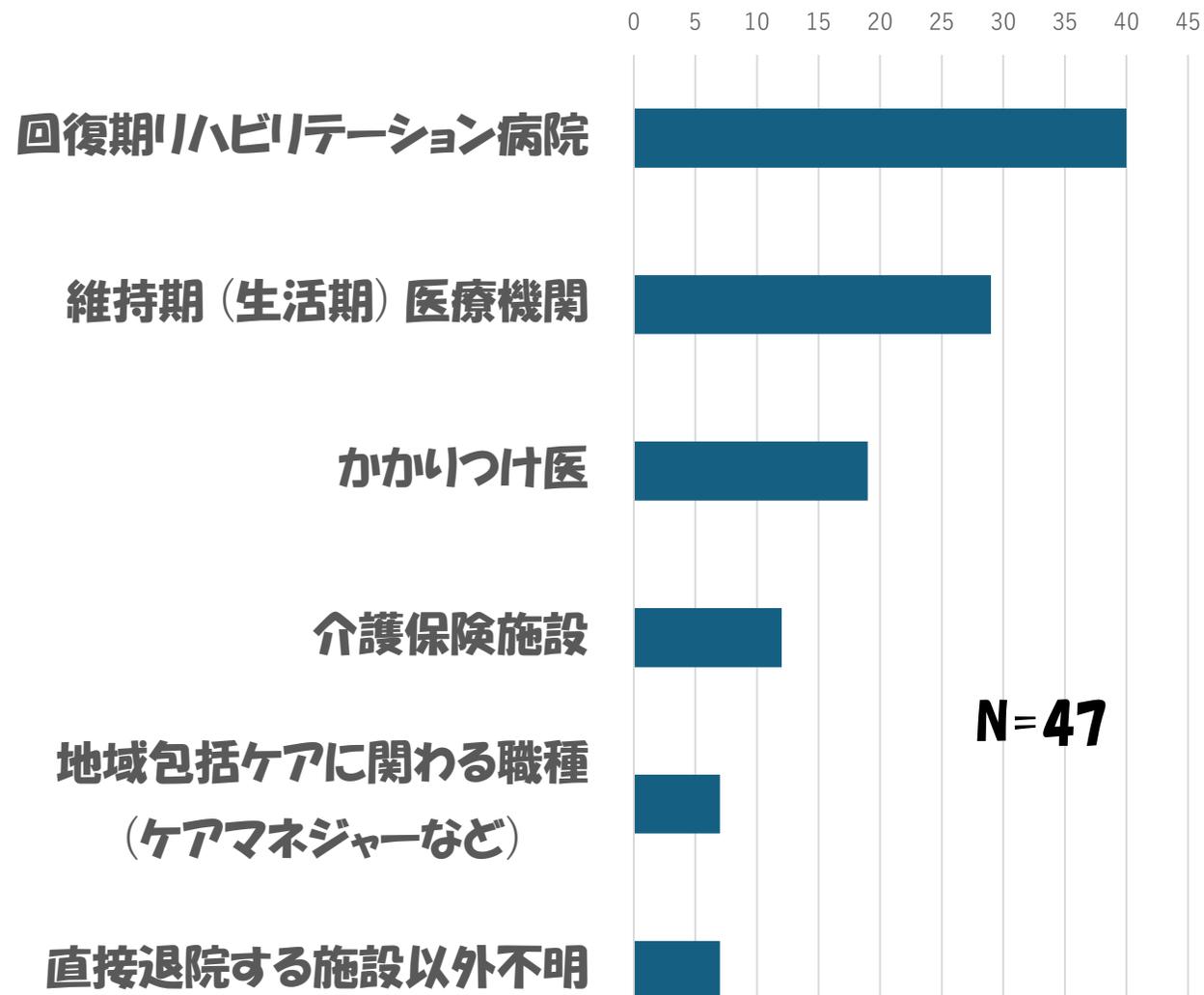
両立支援コーディネーター
8/47 (17.8%)

N=47

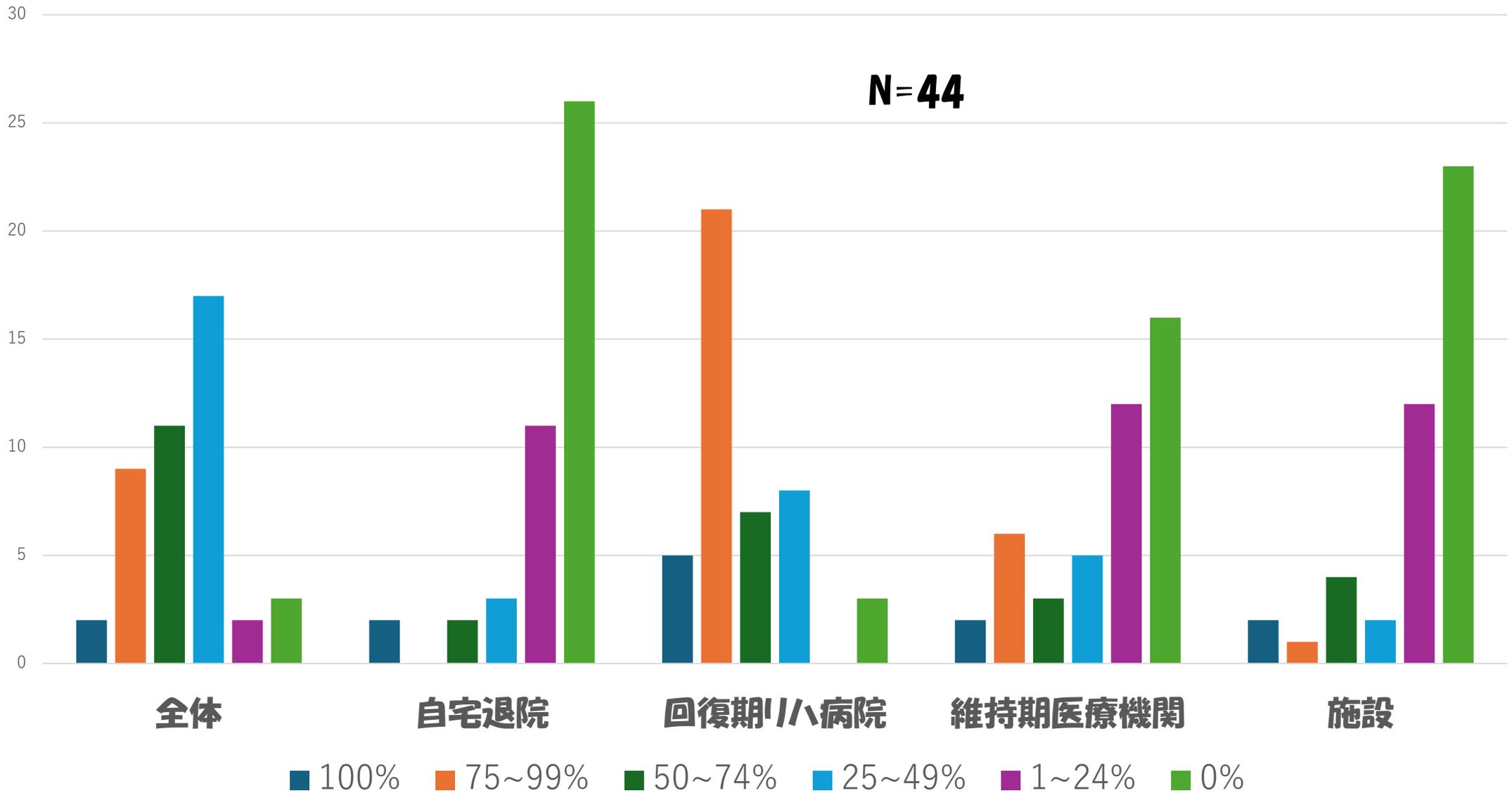
地域連携パスを 発出する連携先



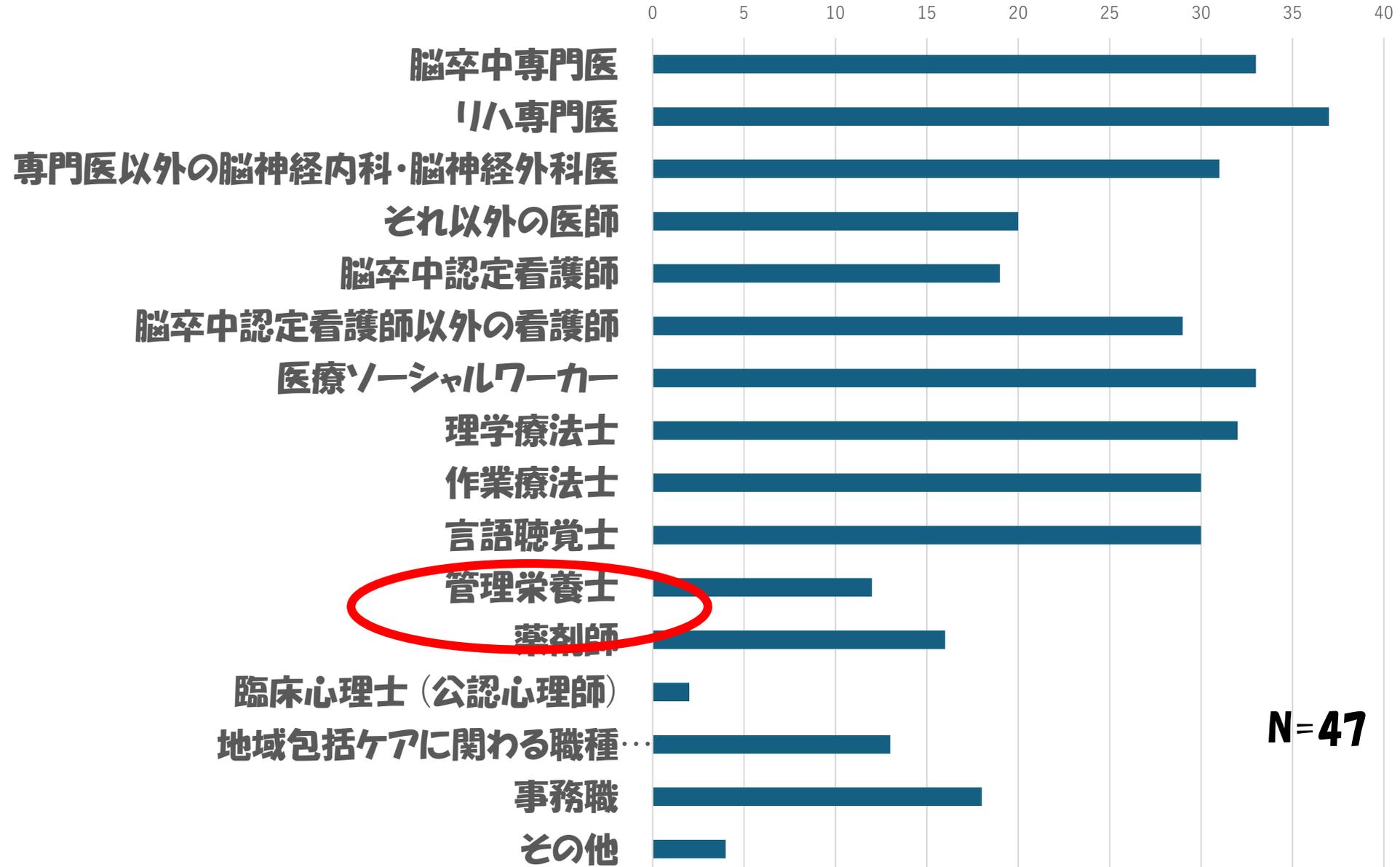
地域連携パスが どこまで繋がるか



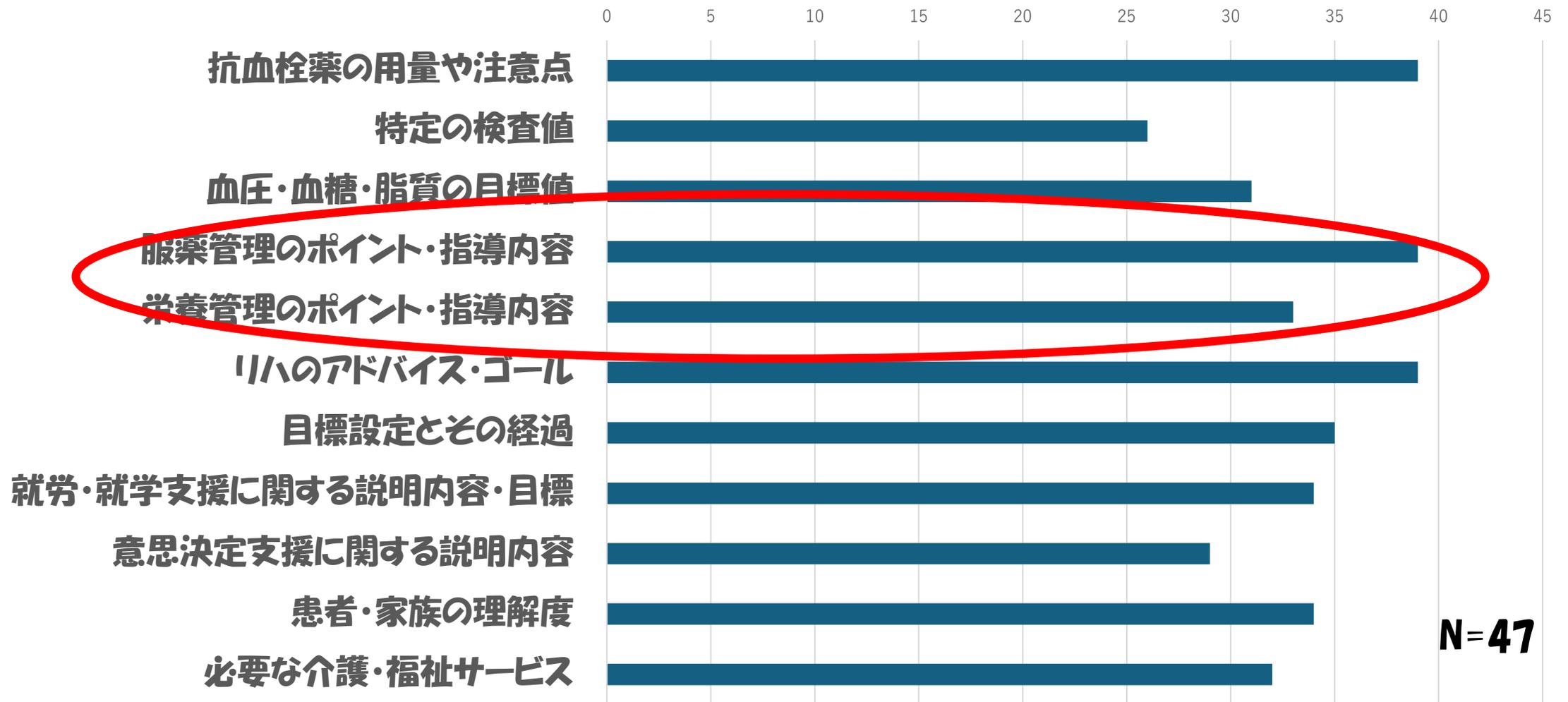
地域連携パスの退院先別利用率の分布



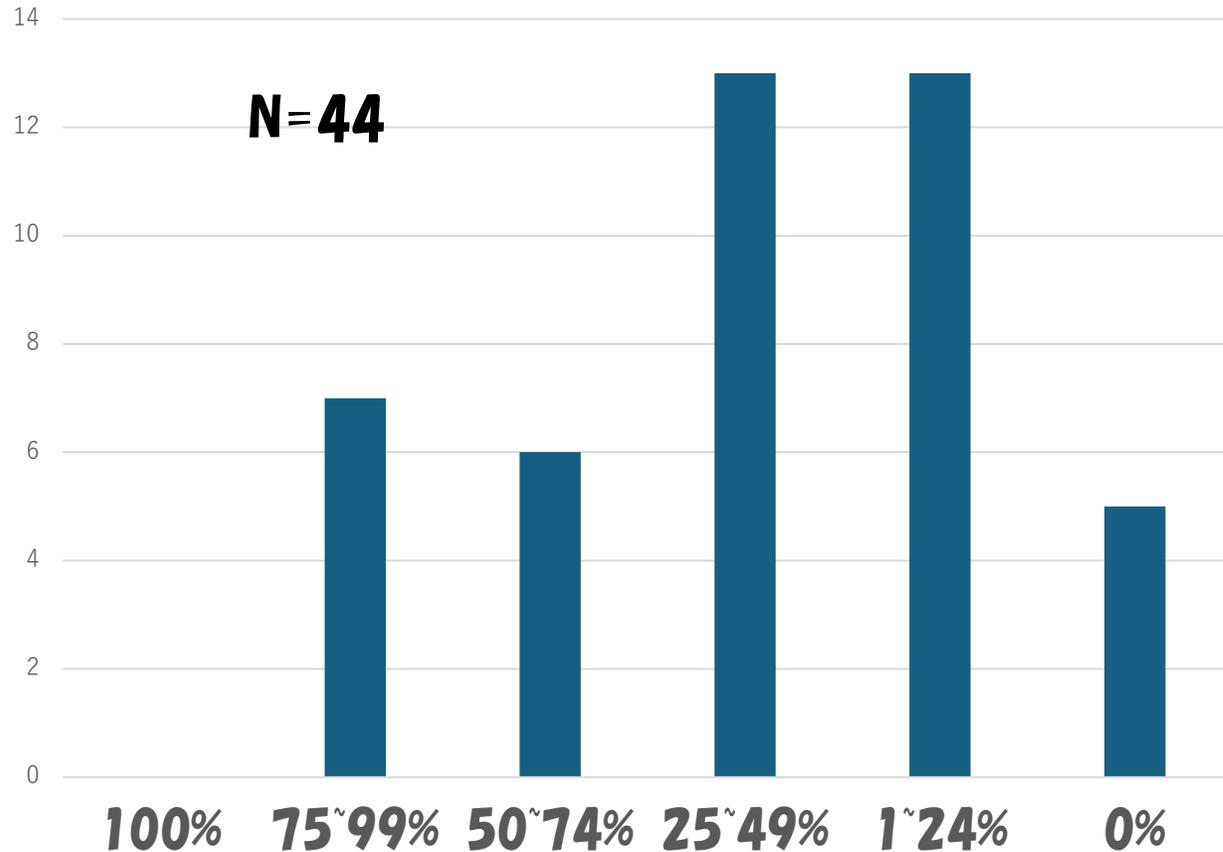
回復期, 維持期 (生活期), 地域包括ケアシステムで「脳卒中地域連携パス」の運用に関与する, または「脳卒中地域連携パス」を利活用する職種



地域連携パスに盛り込むべきと考える項目



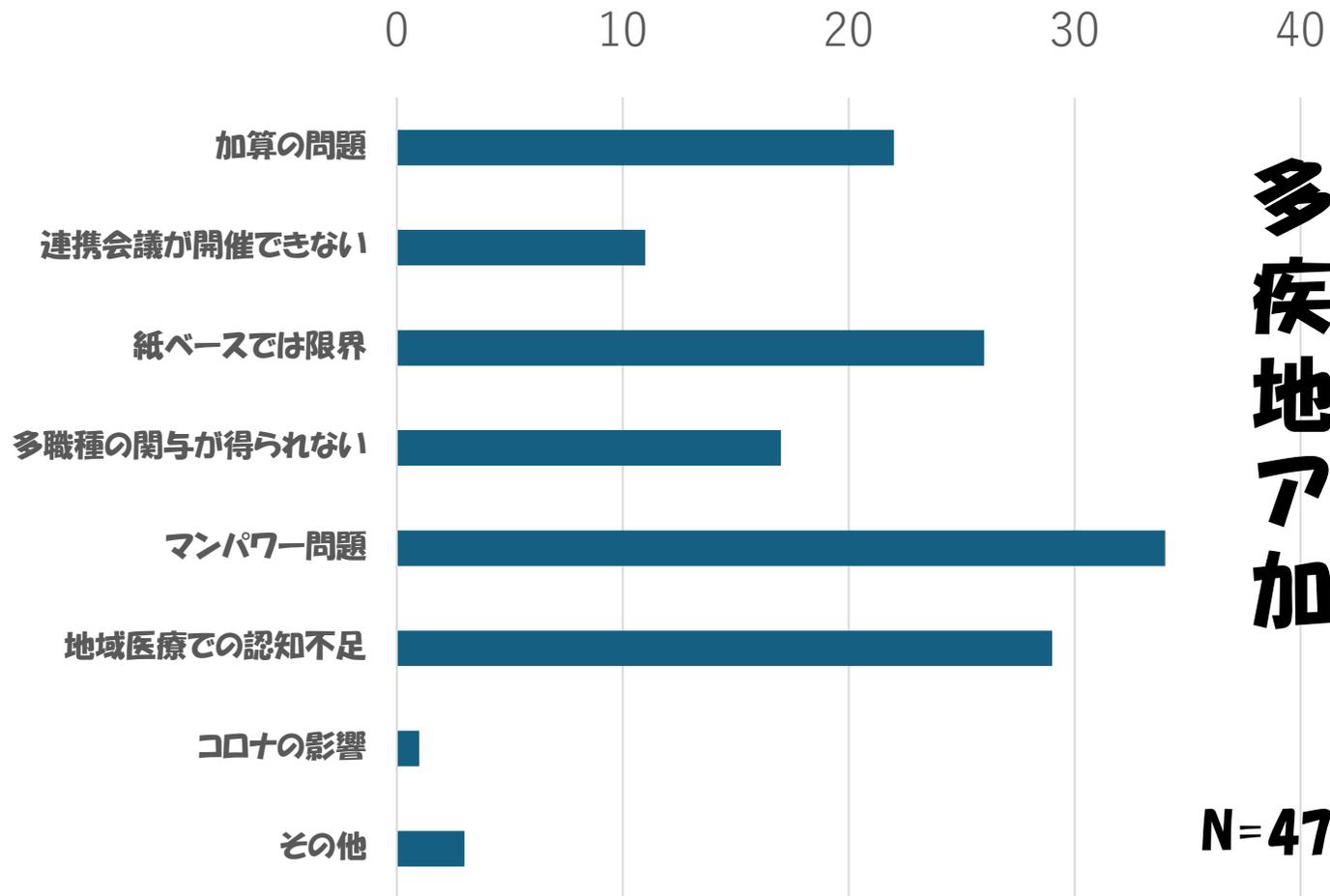
地域連携パスの フィードバック率の分布



地域連携パスの現状・課題

- 共通パスは活用されている
- 回復期以降に活用されていない
- 循環型でなくフィードバックが少ない
- 多職種情報共有が不十分
- 盛り込むべき内容が反映されていない

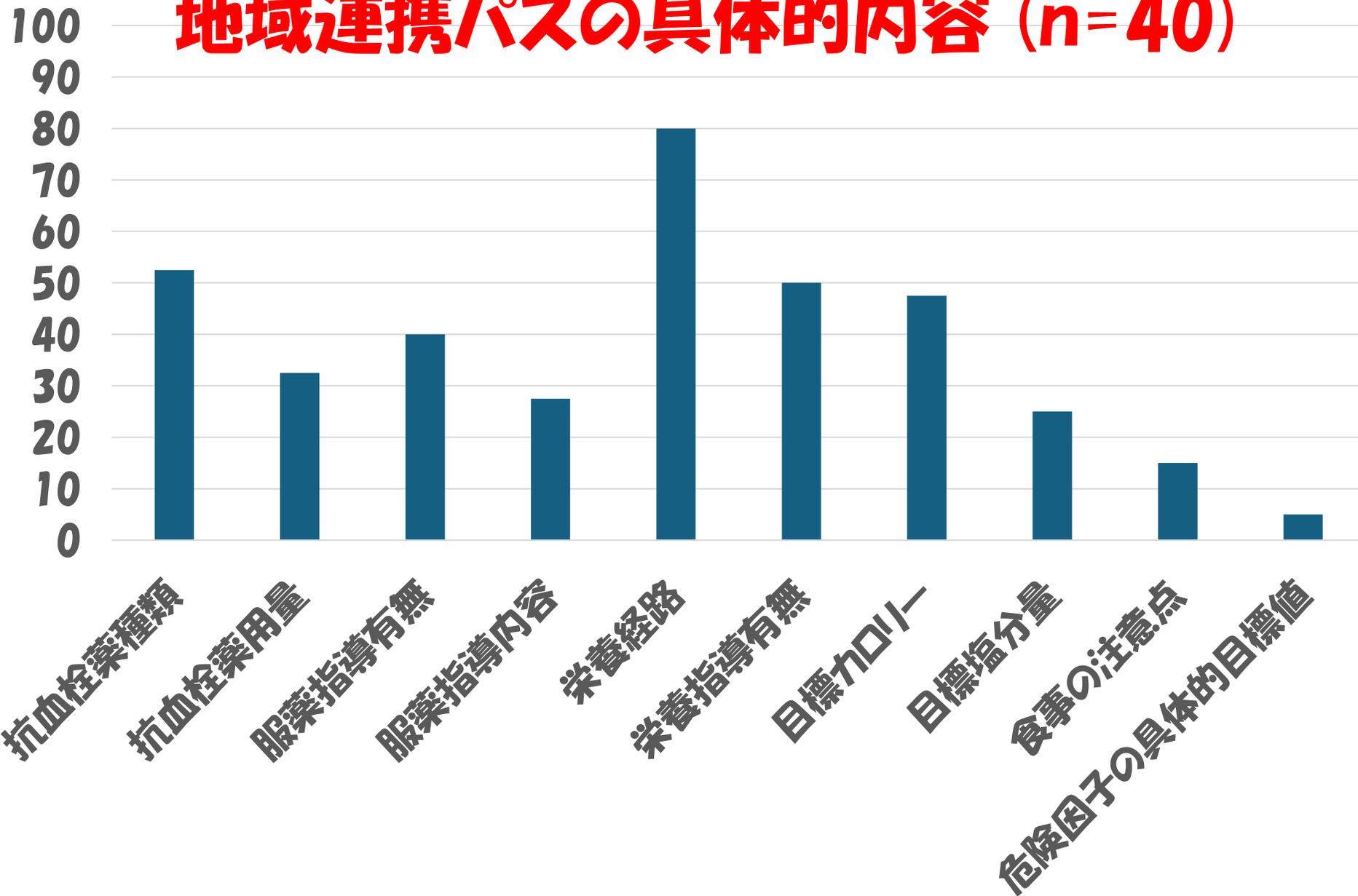
地域連携パスが循環し共有できない理由



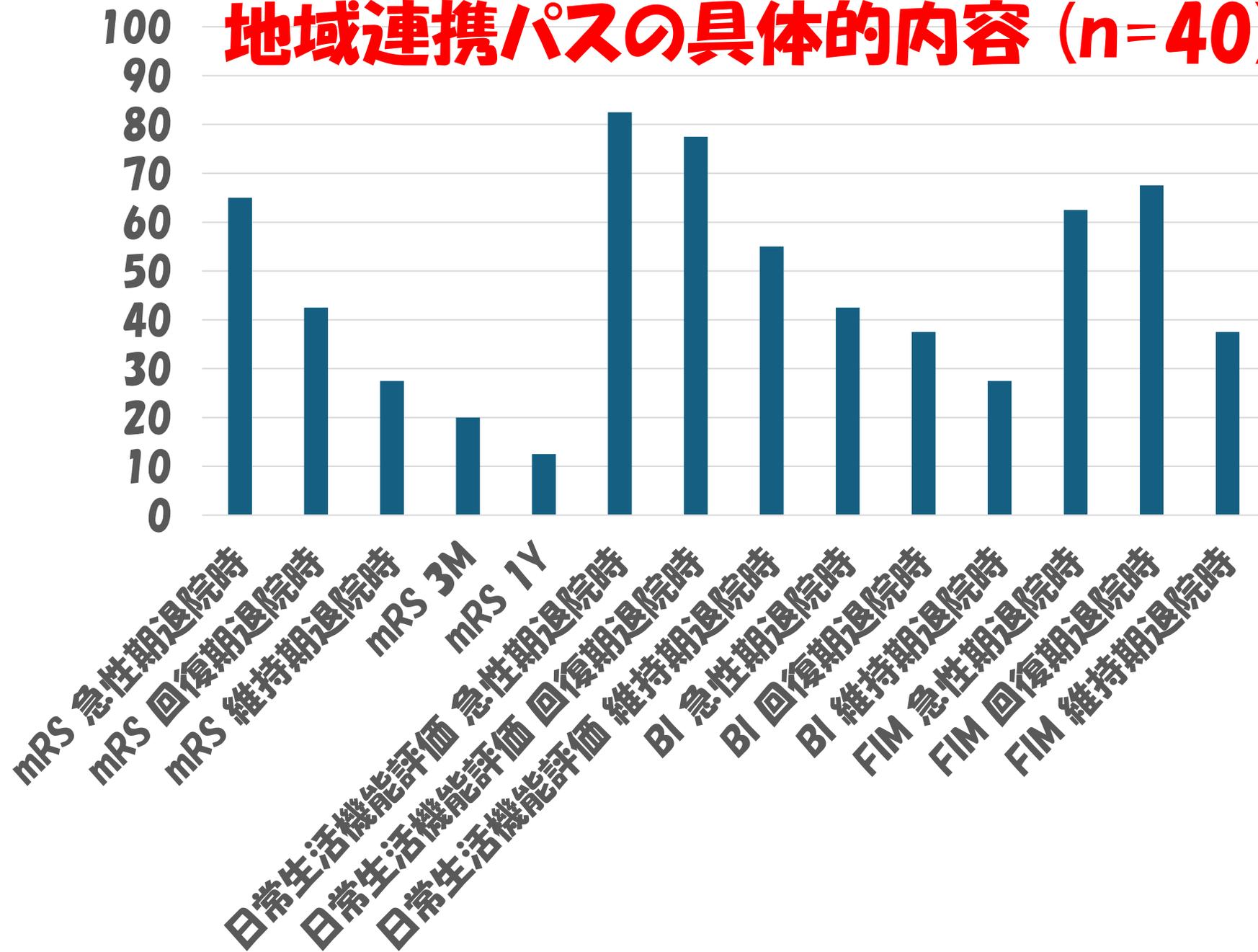
多職種協働循環型
疾患管理プログラムの必要性
地域への周知
アプリ開発
加算

N=47

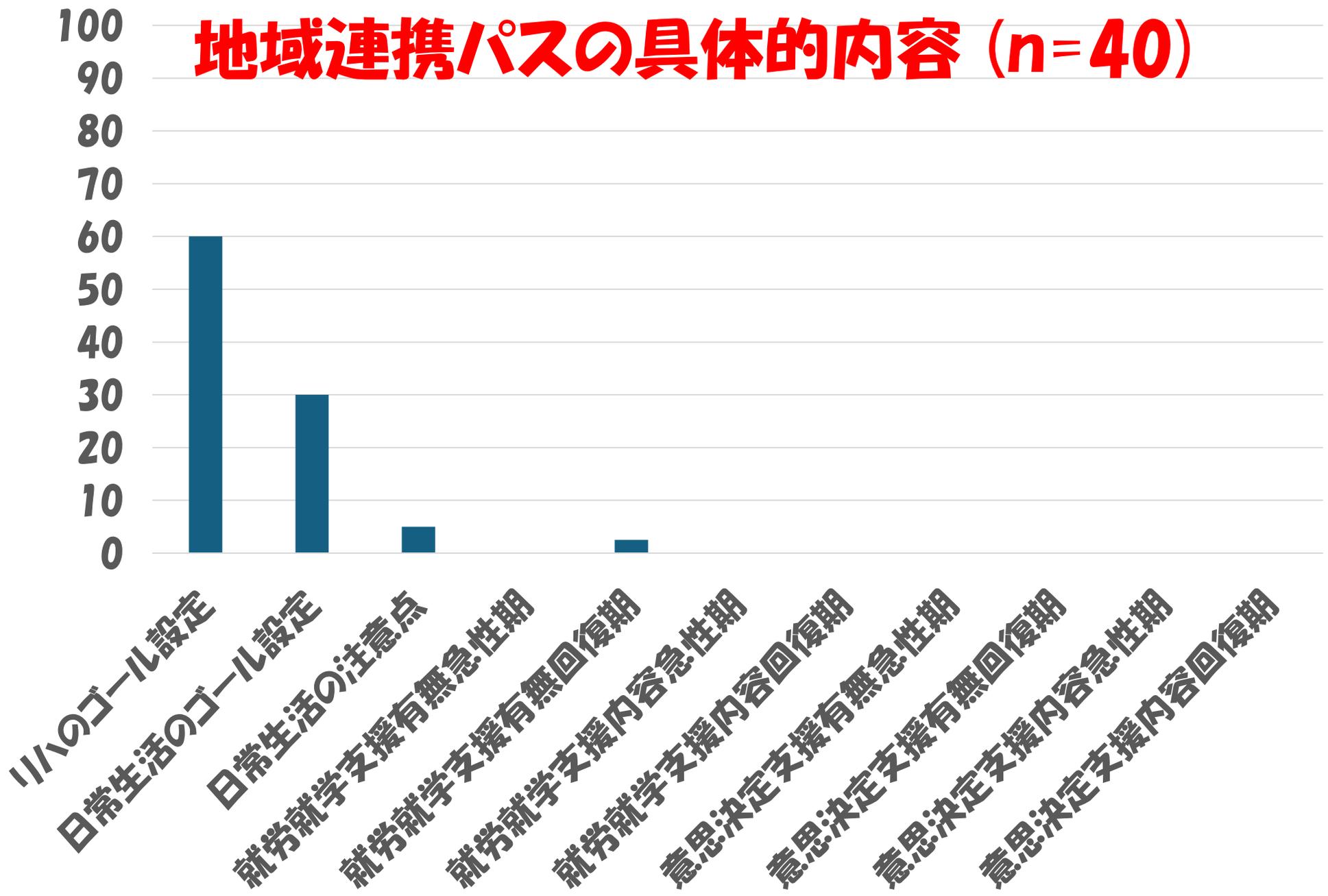
地域連携パスの具体的内容 (n=40)



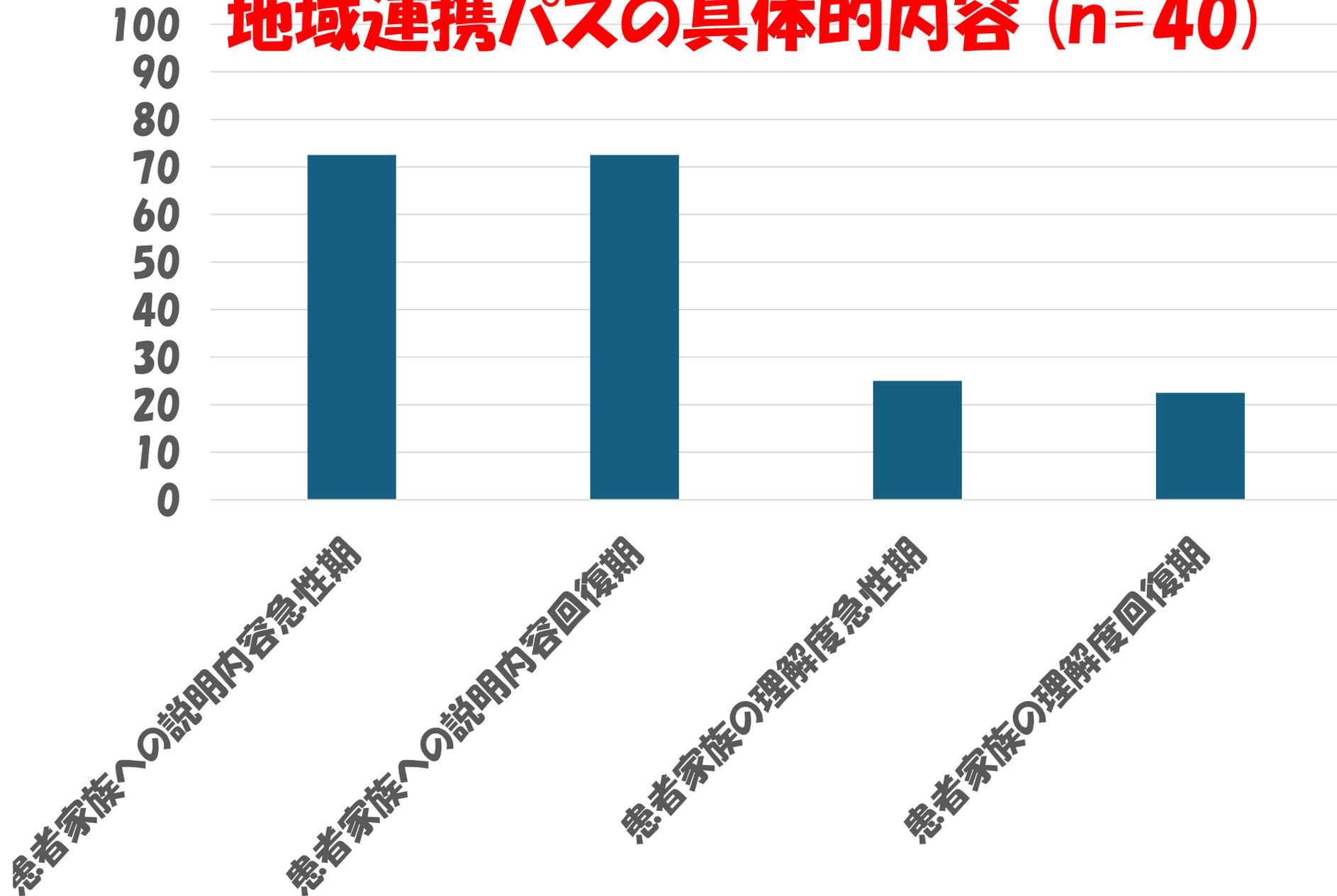
地域連携パスの具体的内容 (n=40)



地域連携パスの具体的内容 (n=40)



地域連携パスの具体的内容 (n=40)



地域連携パスの具体的内容 (n=40)

- 盛り込むべき内容が反映されていない
- 服薬, 栄養指導の内容が反映されていない
- mRSの経過が反映されていない
- 日常生活ゴール, 就労支援, 意思決定支援に関する情報が反映されていない
- 説明に対する患者や家族の理解度が反映されていない

回復期・維持期（生活期）医療機関および地域包括ケアに関わる多職種への調査フォーム

管理栄養士・栄養士のみなさまへ

0. 現在の職場について
 - a. 回復期医療機関
 - b. 維持期医療機関
 - c. かかりつけクリニック
 - d. 福祉施設, 保健所, または訪問・介護系サービス

1. 脳卒中地域連携パスの内容を確認することはありますか.
 - a. はい
 - b. いいえ

2. 急性期病院または回復期病院からの情報提供で得られている情報をすべて選んでください
 - a. 目標塩分摂取量
 - b. 目標総カロリー
 - c. 脂質異常症対策・指導内容
具体的内容：
 - d. 耐糖能異常対策・指導内容
具体的内容：
 - e. フレイル対策・指導内容
具体的内容
 - f. 目標血圧
 - g. 目標 LDL 値
 - h. 目標 TG 値
 - i. 目標 HbA1c 値
 - j. 口腔ケアについて
 - k. 食事形態
 - l. 日常生活機能評価 (modified Rankin Scale, Barthel Index, Functional Independence Measure などを含む)
 - m. 介護保険・福祉サービスの状況

3. 担当患者に指導している内容をすべて選んでください
 - a. 目標塩分摂取量
 - b. 目標総カロリー
 - c. 脂質異常症対策・指導内容
具体的内容：

- d. 耐糖能異常対策・指導内容
具体的内容：
- e. フレイル対策・指導内容
具体的内容
- f. 目標血圧
- g. 目標 LDL 値
- h. 目標 TG 値
- i. 目標 HbA1c 値
- j. 口腔ケアについて
- k. 食事形態
- l. その他重視している項目 ()

4. 設問2の項目のうち，急性期・回復期からの情報で，不足していると考えられるものをすべて記載してください。設問2にない項目は直接記入してください。

5. 患者さんの栄養状態や栄養指導の効果の指標として重視しているのはどれですか？すべて選んでください

- a. BMI
- b. 体重
- c. アルブミン
- d. 総コレステロール
- e. LDL コレステロール
- f. HDL コレステロール
- g. HbA1c
- h. 日常生活機能評価 (modified Rankin Scale, Barthel Index, Functional Independence Measure などを含む)
- i. 食事形態
- j. 食事量，総カロリー
- k. その他 ()

6. フレイル予防のため実施しているものをすべて選んでください

- a. 栄養指導
- b. 口腔ケア
- c. 運動指導
- d. 社会参加への指導
- e. その他

具体的内容：

7. 他の職種のサマリーや情報提供書で、参考にするものをすべて選んでください

- a. 医師
- b. 看護師
- c. 理学療法士
- d. 作業療法士
- e. 言語聴覚士
- f. 薬剤師
- d. 医療ソーシャルワーカー

8. 他の職種への申し送る内容をすべて選んでください

- a. 目標塩分摂取量
- b. 目標総カロリー
- c. 脂質異常症対策・指導内容
具体的内容：
- d. 耐糖能異常対策・指導内容
具体的内容：
- e. フレイル対策・指導内容
具体的内容

- f. 目標血圧
- g. 目標 LDL 値
- h. 目標 TG 値
- i. 目標 HbA1c 値
- j. アルブミン値
- k. 口腔ケアについて
- l. 食事形態
- m. その他 ()

9. 申し送り時に作成するものをすべて選んでください。

a. 地域連携パスへの記載

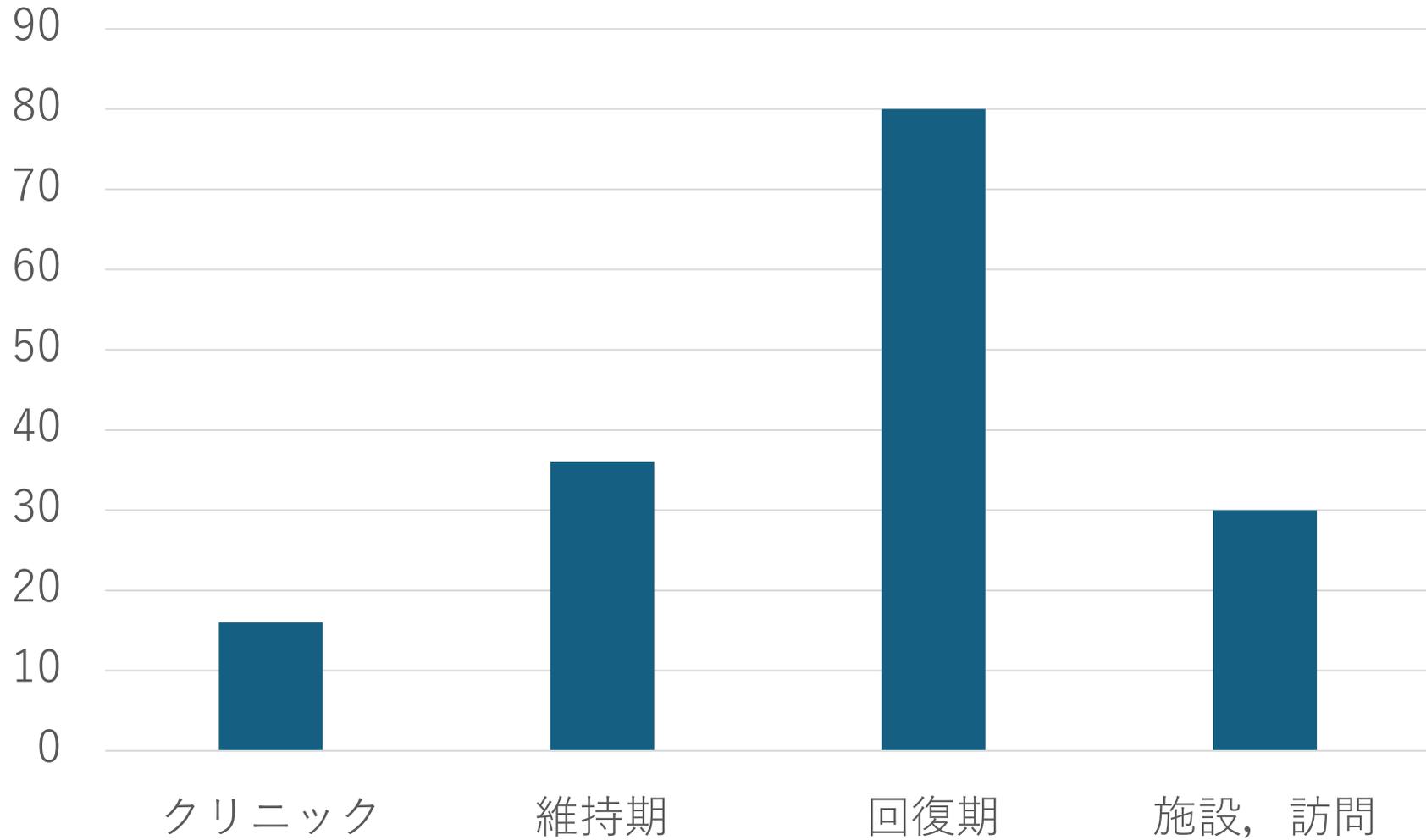
b. 栄養情報報告書

c. その他 ()

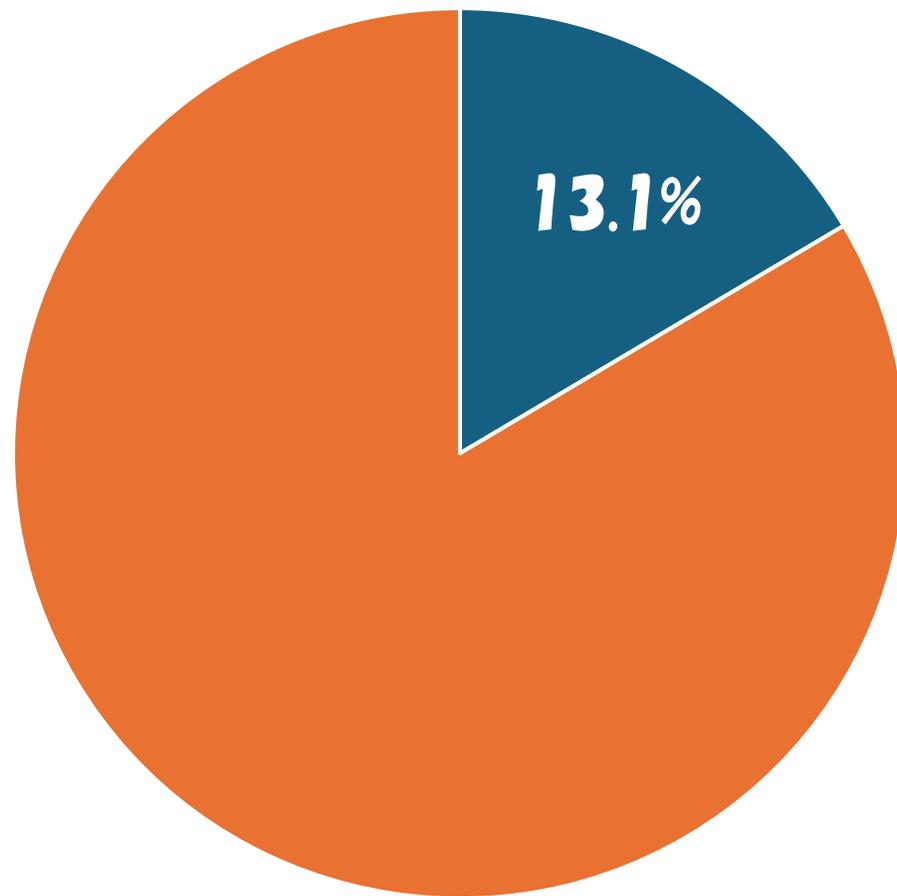
10. 地域全体で疾患管理プログラムを策定して情報共有するための課題についてご意見を記載してください。

管理栄養士・栄養士からみた 脳卒中地域連携の現状と課題

管理栄養士・栄養士の職場

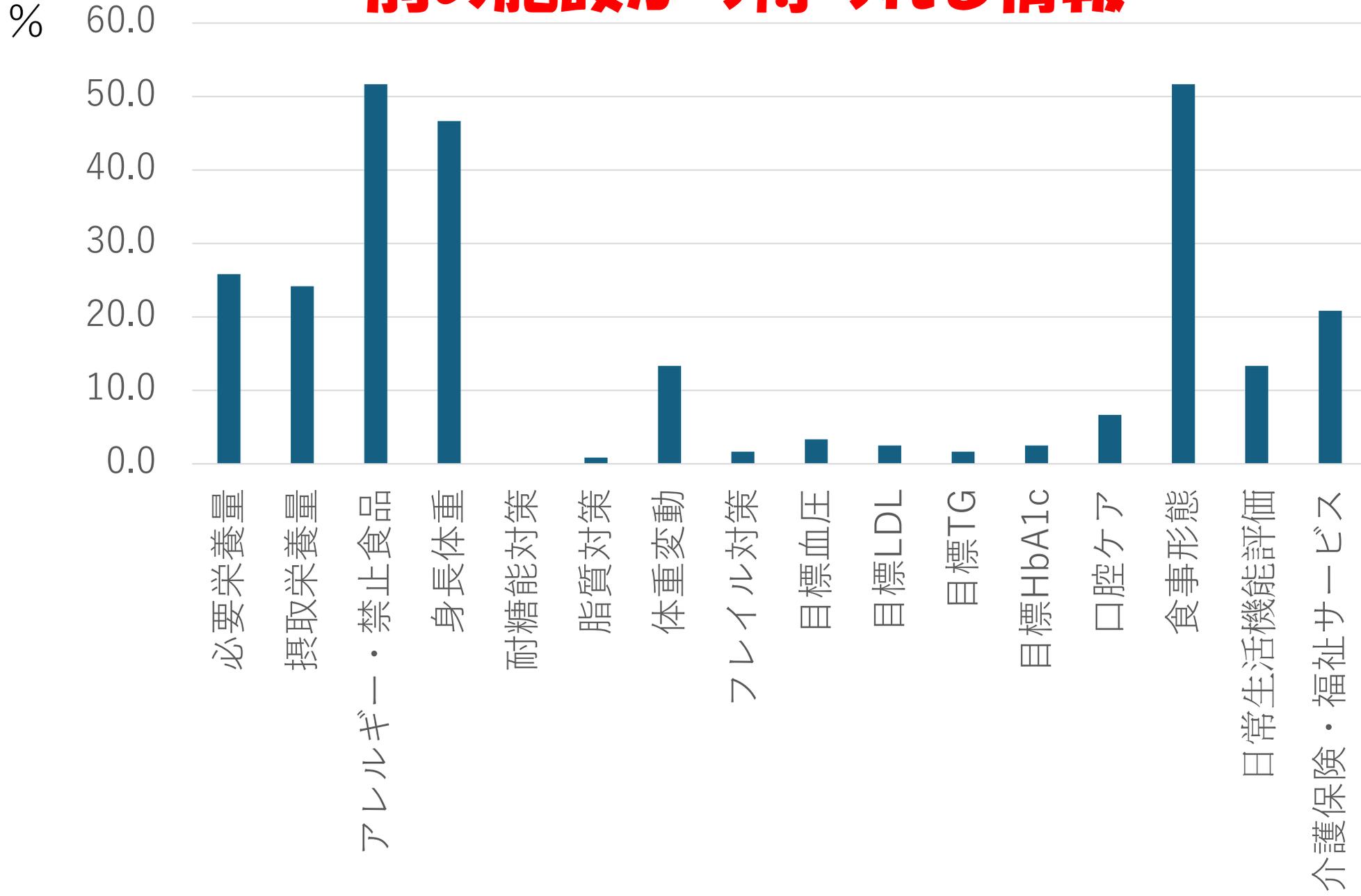


脳卒中地域連携パスの利用

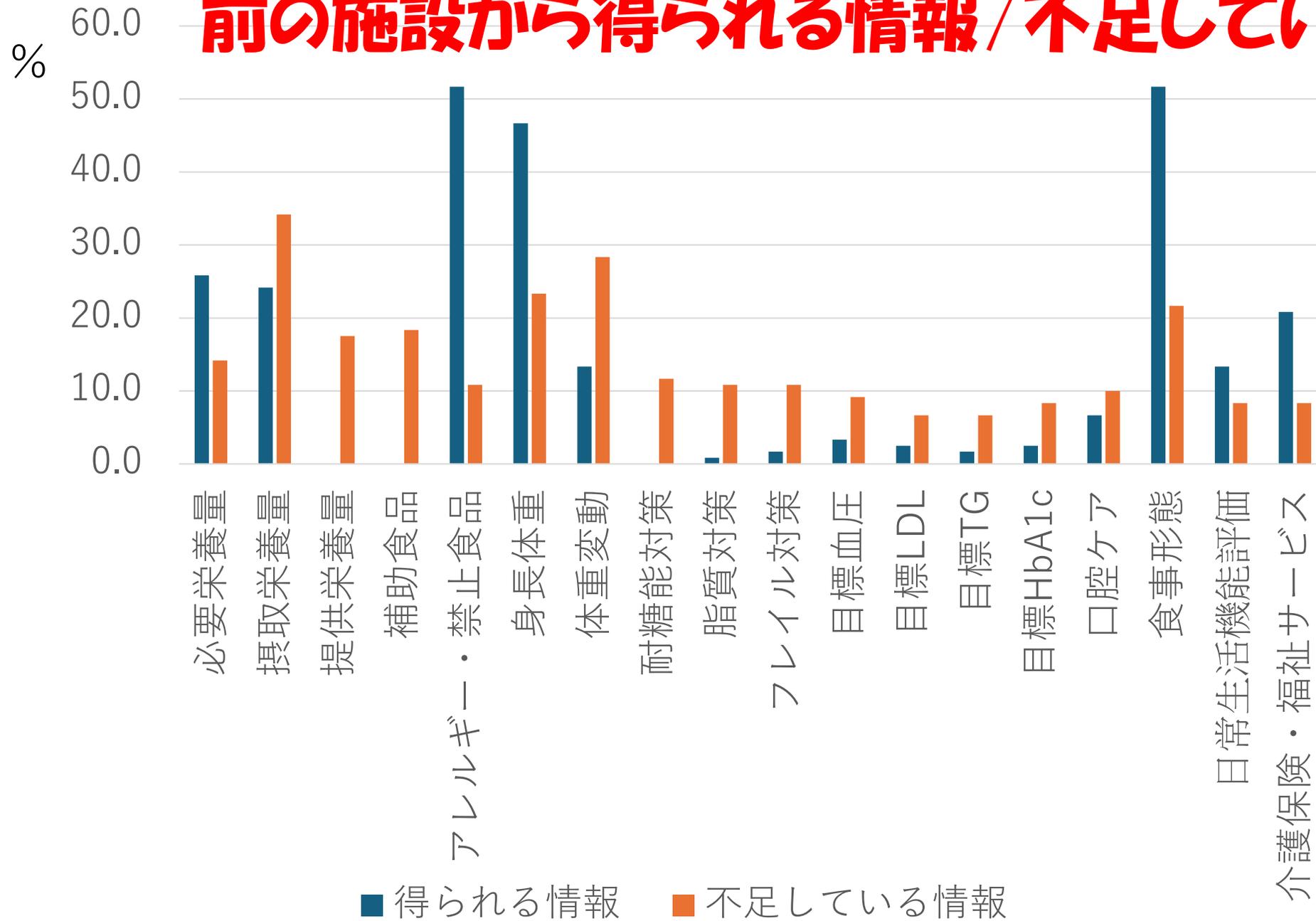


■ はい ■ いいえ

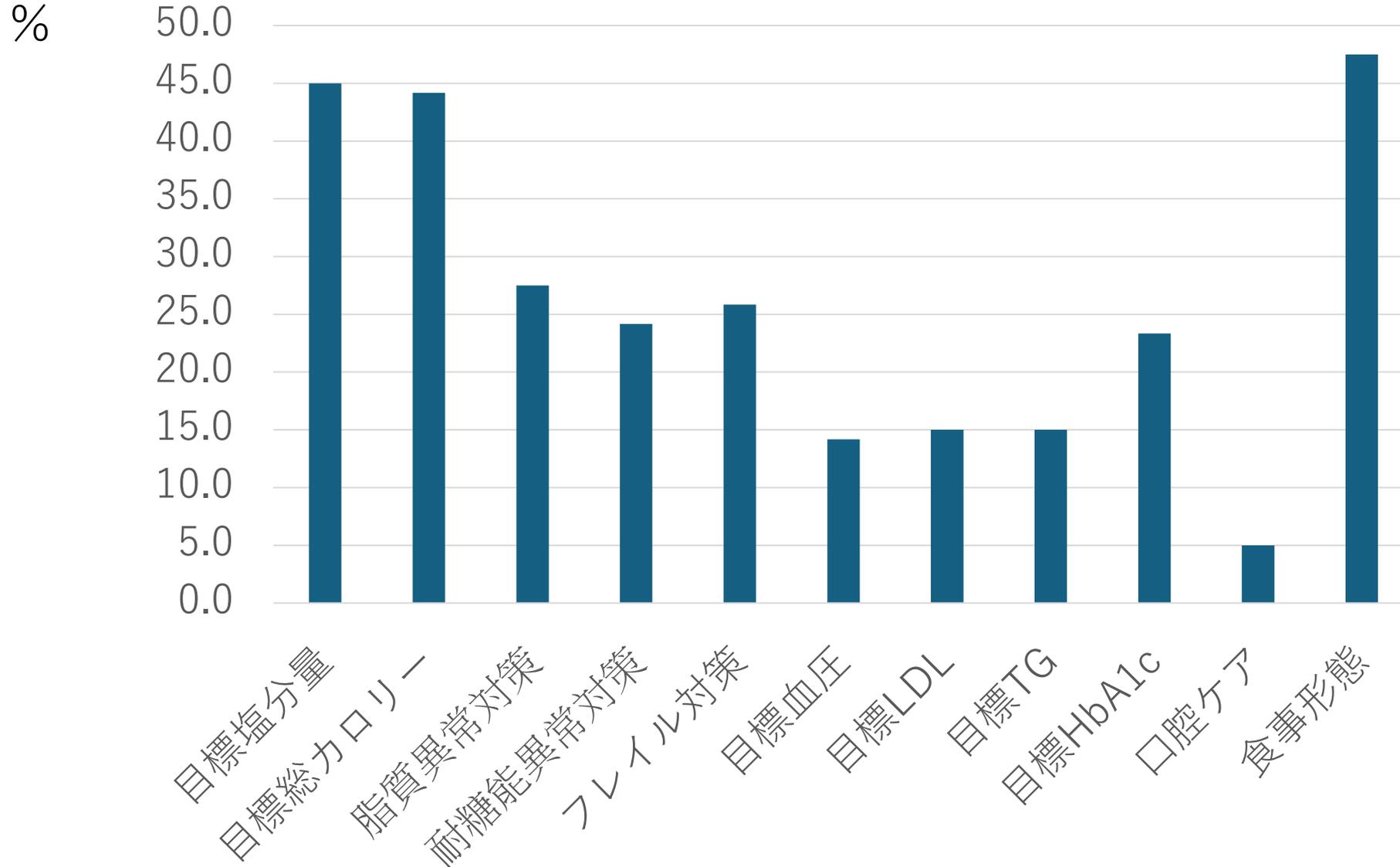
前の施設から得られる情報



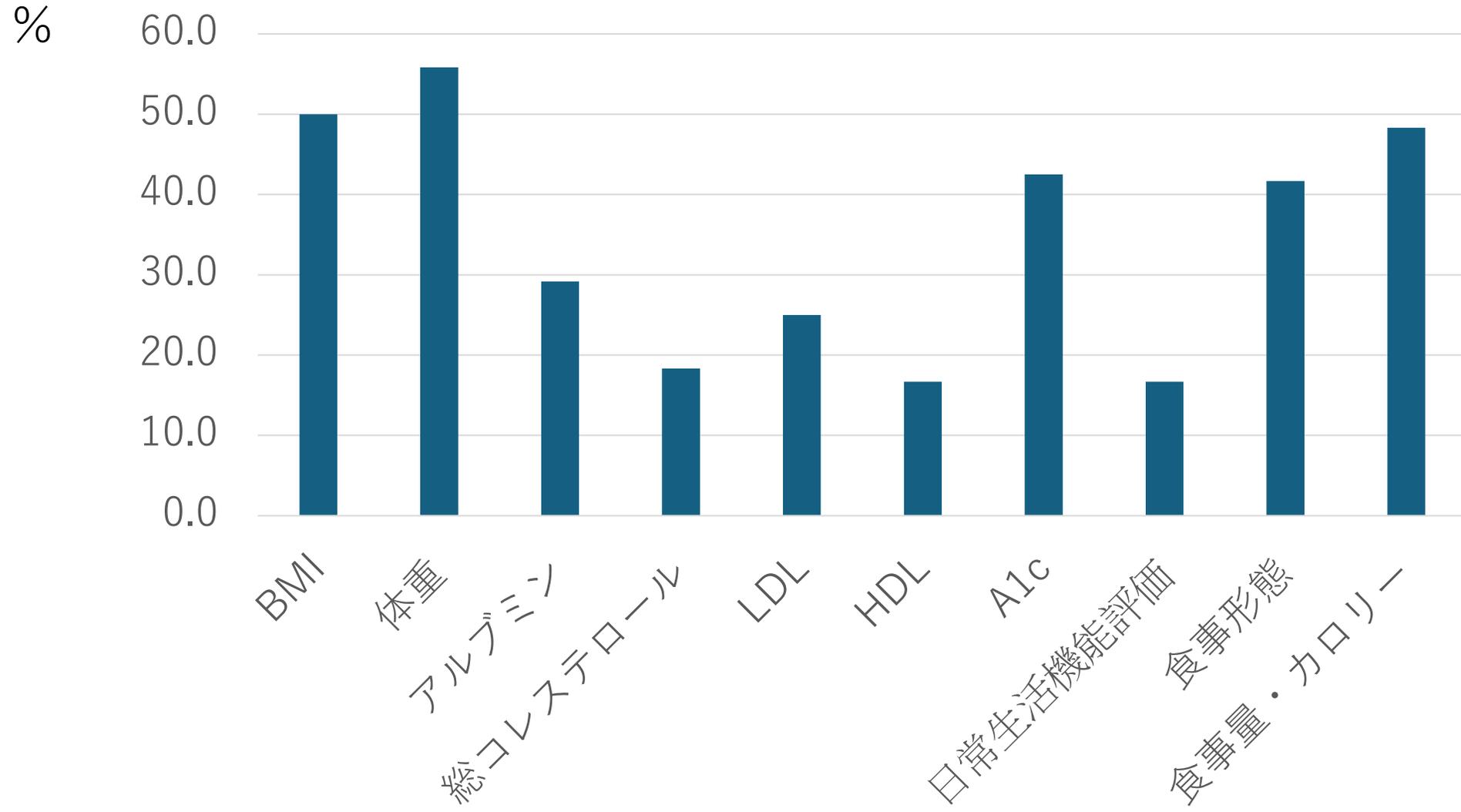
前の施設から得られる情報 / 不足している情報



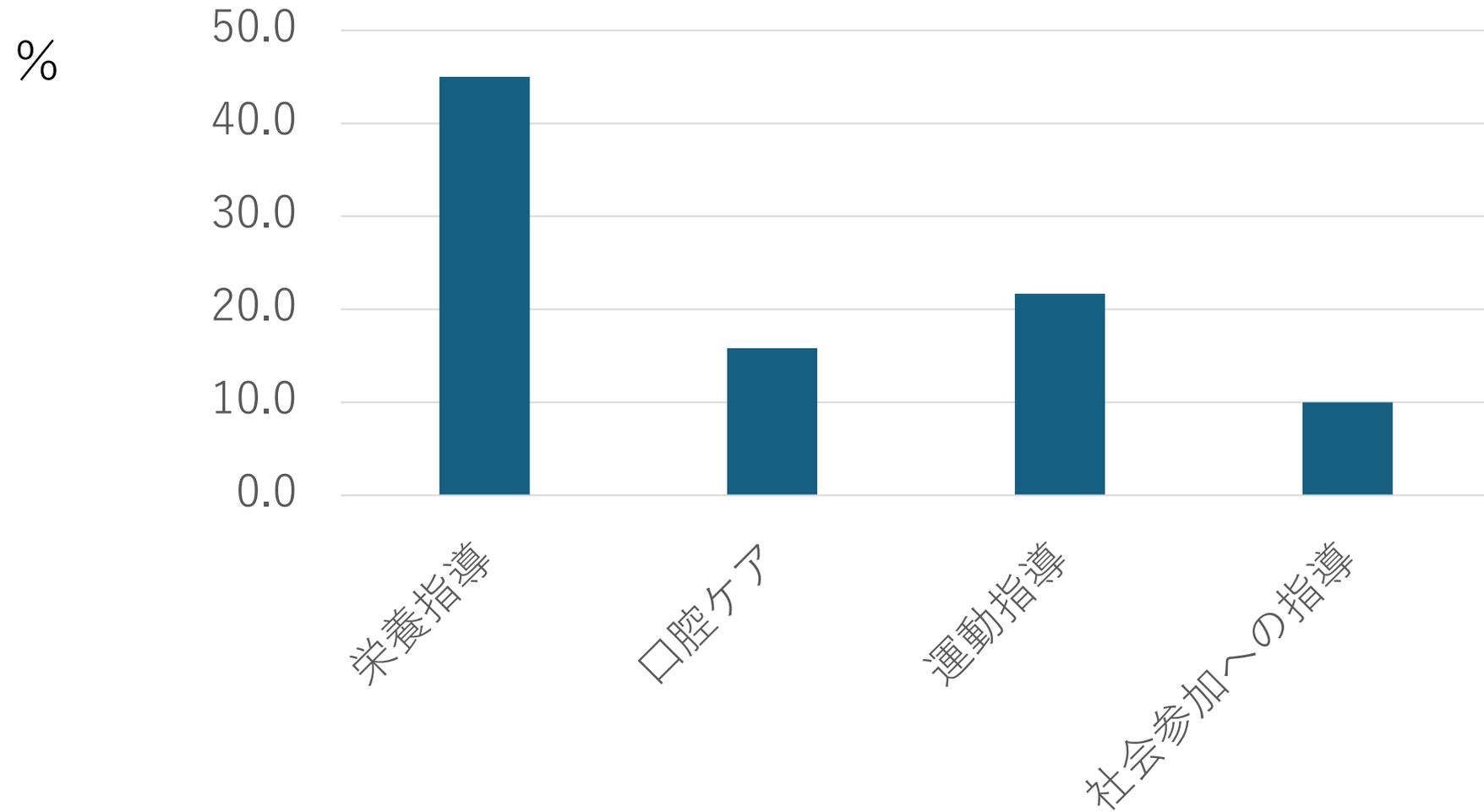
重視して指導している内容



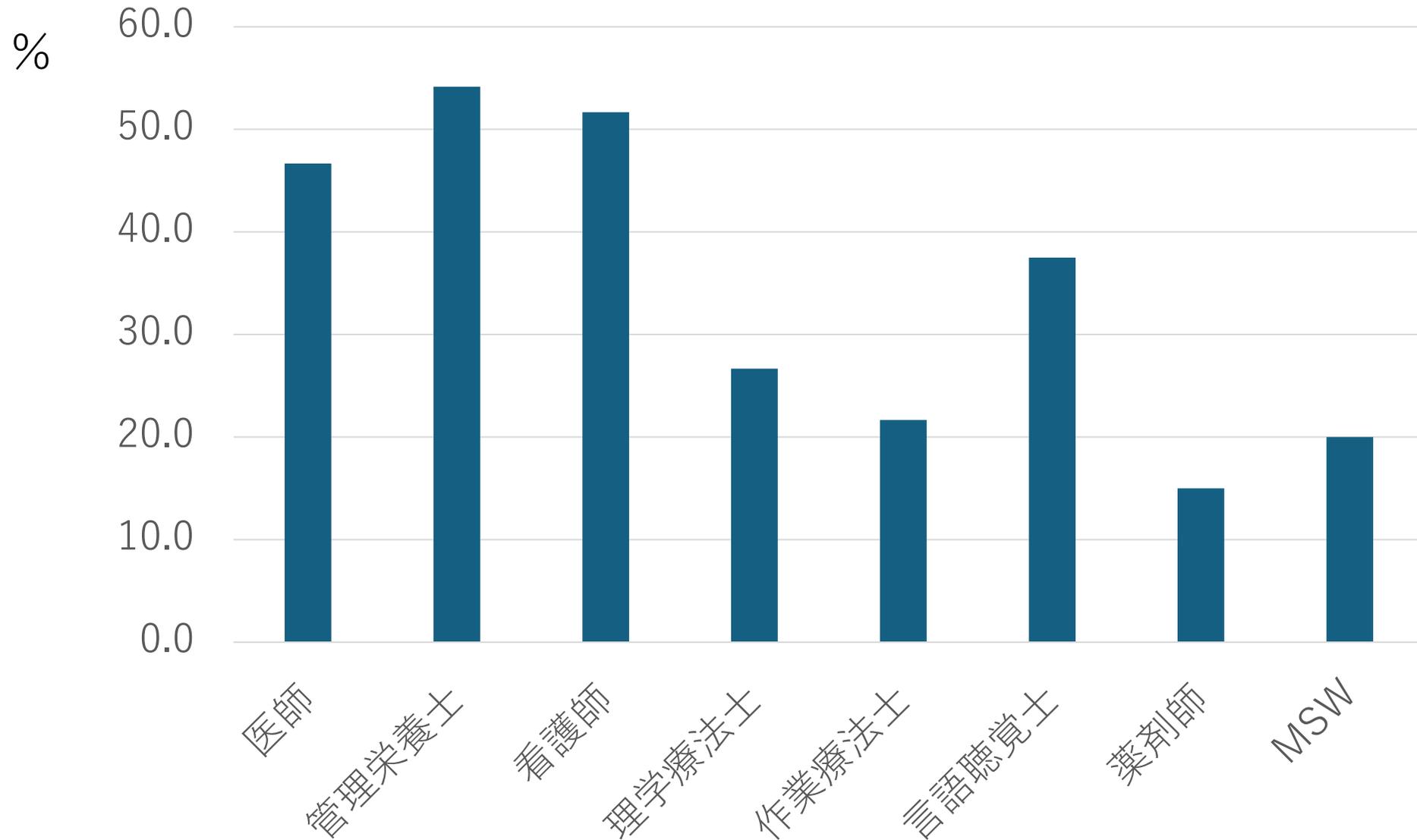
重視して指導している指標



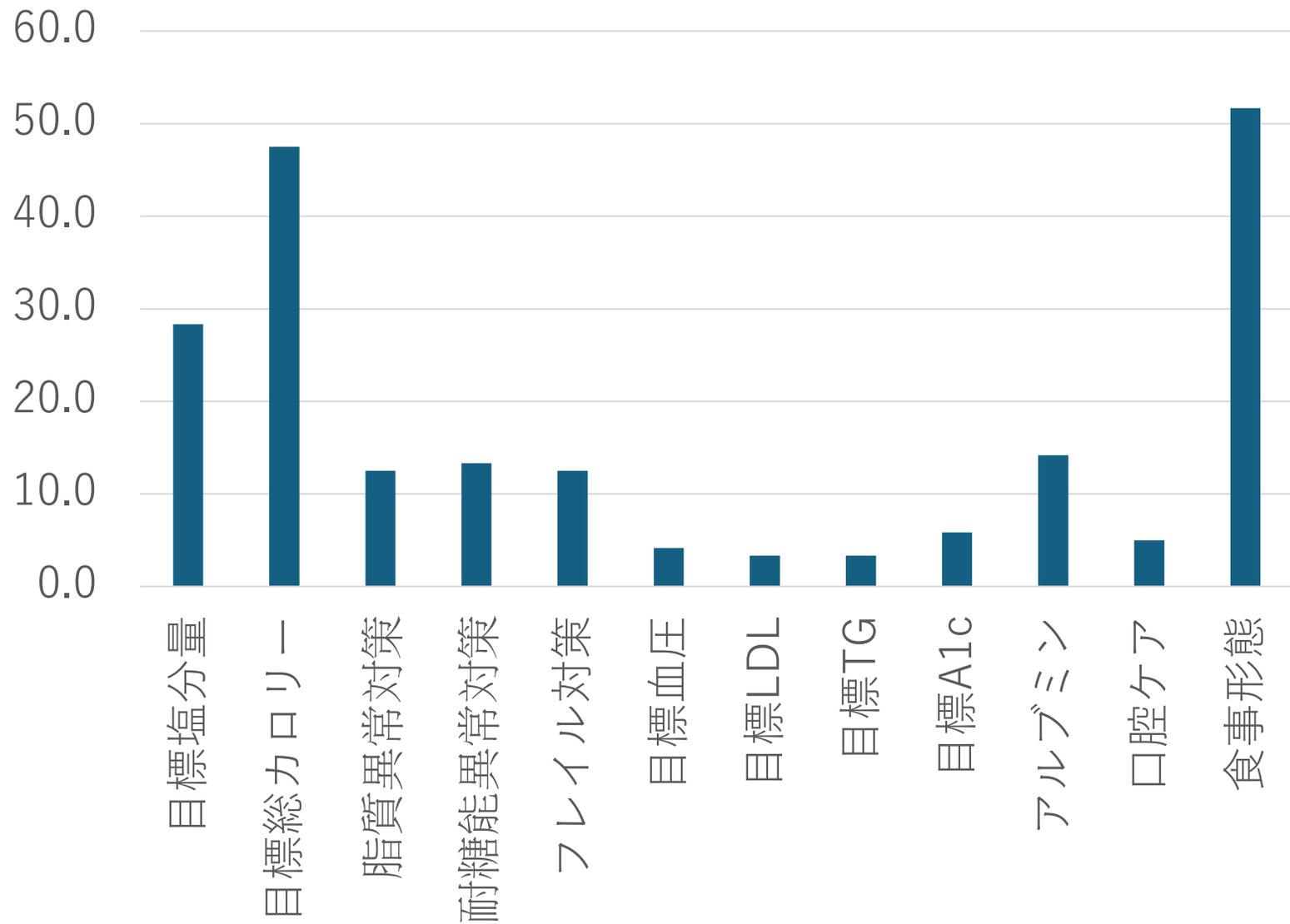
フレイル対策で実施していること



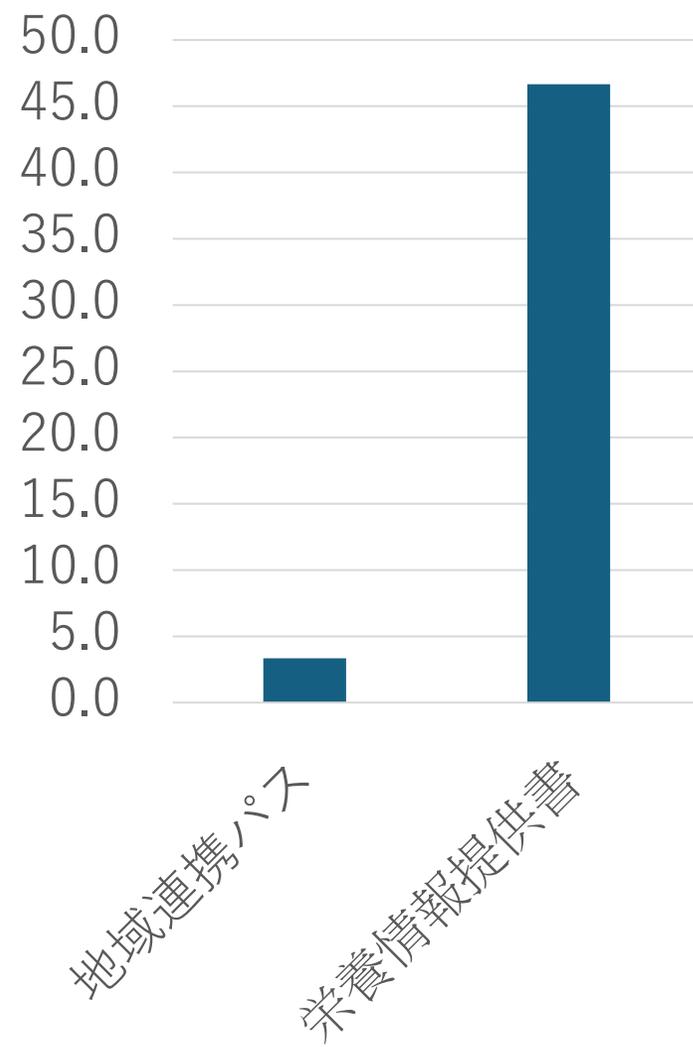
参考にする情報提供書



申し送る内容



申し送り方法



別紙4

研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
該当なし					

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長)~~ 殿
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 自治医科大学
所属研究機関長 職名 学長

氏名 永井 良三

次の職員の（令和）6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
2. 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究 (24FA1019)
3. 研究者名 (所属部署・職名) 自治医科大学内科学講座神経内科学部門 教授
(氏名・フリガナ) 藤本 茂 フジモト シゲル

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2025年 3月 25日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 自治医科大学
所属研究機関長 職名 学長

氏名 永井 良三

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
- 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究(24FA1019)
- 研究者名 (所属部署・職名) 自治医科大学内科学講座神経内科学部門 講師
(氏名・フリガナ) 益子 貴史 マシコ タカフミ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 学校法人岩手医科大学
所属研究機関長 職名 学長

氏名 小笠原邦昭

次の職員の（令和）6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
- 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究（24FA1019）
- 研究者名 （所属部署・職名）学校法人岩手医科大学・学長
（氏名・フリガナ） 小笠原邦昭・オガサワラクニアキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 京都大学
所属研究機関長 職名 総長

氏名 湊 長博

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
- 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究(24FA1019)
- 研究者名 (所属部署・職名) 医学部附属病院・特任病院教授
(氏名・フリガナ) 宮本 享・ミヤモト ススム

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2025年 4月 9日

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長)~~ 殿
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 済生会熊本病院
所属研究機関長 職名 院長

氏名 中尾 浩一

次の職員の（令和）6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
- 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究（24FA1019）
- 研究者名 （所属部署・職名） 脳神経内科 特別顧問
（氏名・フリガナ） 橋本洋一郎・ハシモトヨウイチロウ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和7年3月27日

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 中国労災病院治療就労両立支援センター
所属研究機関長 職名 所長

氏名 豊田 章宏

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
- 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究(24FA1019)
- 研究者名 (所属部署・職名) 中国労災病院治療就労両立支援センター・所長
(氏名・フリガナ) 豊田 章宏・トヨタ アキヒロ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する口にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和7年4月30日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 岩手医科大学
所属研究機関長 職名 学長

氏名 小笠原 邦昭

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
- 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 脳神経内科・老年科分野 教授
(氏名・フリガナ) 板橋 亮 (イタバシ リョウ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 獨協医科大学
所属研究機関長 職名 学長

氏名 吉田 謙一郎

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
2. 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究(24FA1019)
3. 研究者名 (所属部署・職名) 教授
(氏名・フリガナ) 竹川 英宏・タケカワ ヒデヒロ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和7年4月1日

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 国立大学法人富山大学
所属研究機関長 職名 学長

氏名 齋藤 滋

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
2. 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究(24FA1019)
3. 研究者名 (所属部署・職名) 学術研究部医学系・教授
(氏名・フリガナ) 黒田 敏・クロダ サトシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2025年 3月 28日

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 獨協医科大学
所属研究機関長 職名 学長

氏名 吉田 謙一郎

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
- 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究(24FA1019)
- 研究者名 (所属部署・職名) 教授
(氏名・フリガナ) 竹川 英宏・タケカワ ヒデヒロ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和7年 4月 11日

厚生労働大臣 殿

機関名 佐賀大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 児玉 浩明

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

2. 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究 (24FA1019)

3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部脳神経外科・教授
(氏名・フリガナ) 阿部 竜也 ・アベ タツヤ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2025年 3月 26日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 国立循環器病研究センター
所属研究機関長 職名 理事長

氏名 大津 欣也

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
- 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究(24FA1019)
- 研究者名 (所属部署・職名) 脳血管内科 部長
(氏名・フリガナ) 古賀政利・コガマサトシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和7年5月9日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人広島大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 越智 光夫

次の職員の（令和）6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
- 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究（24FA1019）
- 研究者名（所属部署・職名） 大学院医系科学研究科 脳神経外科学・教授
（氏名・フリガナ） 堀江 信貴・ホリエ ノブタカ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項） _____

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

（留意事項） ・該当する口にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 7 年 3 月 27 日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)—
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 地方独立行政法人
神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
所属研究機関長 職名 病院長
氏名 木原 康樹

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
2. 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究(24FA1019)
3. 研究者名 (所属部署・職名) 脳神経外科 部長
(氏名・フリガナ) 太田剛史 オオタツヨシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和7年4月15日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 国立大学法人信州大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 中村 宗一郎

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
2. 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究(24FA1019)
3. 研究者名 (所属部署・職名) 信州大学医学部脳神経外科 / 教授
(氏名・フリガナ) 堀内哲吉(ホリウチ テツヨシ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること(指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和7年 5月 12日

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 国立大学法人筑波大学
所属研究機関長 職名 学長
氏名 永田 恭介

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
- 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 医学医療系脳神経外科・教授
(氏名・フリガナ) 松丸 祐司・マツマル ユウジ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

- (留意事項)
- ・該当する□にチェックを入れること。
 - ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2025年 4 月 14 日

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 国立大学法人 香川大学
所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 上田 夏生

次の職員の（令和）6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
- 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究 (24FA1019)
- 研究者名 (所属部署・職名) 脳神経外科・准教授
(氏名・フリガナ) 川西正彦 (カワニシマサヒコ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和7年3月31日

厚生労働大臣 殿

機関名 徳島大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 河村 保彦

次の職員の令和7年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
2. 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医歯薬学研究部脳神経外科学・教授
(氏名・フリガナ) 高木 康志・タカギ ヤスシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 国立大学法人長崎大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 永安 武

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業2. 研究課題名 脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究3. 研究者名 (所属部署・職名) 病院・教授(氏名・フリガナ) 辻野 彰・ツジノ アキラ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。